

♡ こども食堂を まちの フラットフォーム に 🧑🏫

「共食」と「食育」でつなぐ子どもの居場所



信州こども食堂 2022.7.16 参加人員 420 名

24H
無料相談
365 日面談
の相談

相談件数
4,170 件

生活支援
9,640 人

面談同行
生活必需品
支援
(フードバンク)



支援物資
102 点
152 トン



ときめき♡こども食堂 2022.10 参加人員 650 名

県内 **150** カ所
674 回 **55,936** 人

地域の
「居場所」
信州
こども食堂

< 本部 事務所 >
松本市寿北5丁目4番 28-1
電話 0263-75-8368
< 各地域拠点事務所 >
長野市三本柳西 2-74 (にっこりFD.B)
電話 080-3418-0088
台風 19 号被災地 長野市上駒沢 356-102
電話 090-6473-9455
塩尻市片丘 7900 信州こども食堂 in しおじり
電話 090-9118-5899
上田市七瀬 2885-3 まるこ福祉会
電話 090-5329-1653



キッズリソースこども食堂 2022.9 参加人員 596 名

♡ 無料相談・問い合わせ ☎ 0120-914-994

2022年4月～2023年3月

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州

E-mail: yff52160@nifty.com http://hotline-shinshu.jimdo.com/

団体の設立 2011 年 3 月 30 日 法人の設立 2014 年 4 月 1 日

== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==



目 次

- 1 コロナ禍と物価高騰で！**支えあいの輪** P 1
- 子どもと家庭への生活支援物資の宅配ネットワーク**
～ 24H 相談ケア・**生活困難者支援**・**フードバンク**～
- 2 **地域で支え**・**認め合い**、**つながり**を広げ、**だれもが幸せな社会** . . . P 2
- 3 コロナ禍と物価高騰に苦しむ「ひとり親家庭の実態!!」 . . . P 4
- 4 「信州子ども食堂ネットワーク便り」1,000号超えました . . . P 5
- 5 **共食で つながる 力!** ～ **コロナ禍 の 活動 !!** . . . P 6
- 6 コロナ禍における生活支援窓口・相談～繋がる力 . . . P 43
- 7 **フードドライブ**・**フードバンク**・**フードパントリー** . P 48
- 8 **コロナ禍に勝つ! おもいやりの心**
信州子ども食堂応援リレーの紹介 . . . P 52
- 9 **子ども食堂の作り方**  P 64
- 10 **メディア関係など**  P 65
- 11 **信州子ども食堂ネットワーク推進**
・ **関連団体一覧** P 79
- 12 **信州子ども食堂の広がり !!** . . . **裏表紙**



コロナ禍と物価高騰で！ 支えあいの輪 24H 相談ケア・生活困難者支援・フードバンク～

コロナ禍から…深刻化した社会問題の解決へ

生活困窮者等の24時間365日の相談事業から、
コロナ禍における困窮等の深刻化が浮き彫り

相談数は例年の3倍に膨らみ、子どもや若者の
自殺の増加、コロナ禍の影響が長期化、コミュニテ
ィ不足、遊び場不足、居場所不足、心の拠り所不足
など社会課題や問題解決へ向けて取り組んできた。

一人で悩んでいませんか？ まずはお電話ください。



お電話で無料相談 あなたは一人ではありません。あなたのそばに私たちがいます。忘れずに！

土日曜日 10時-22時 **0120-914-994**

平日 10時-22時 **0263-75-8368**

相談の悩み事を確認しながら、支援方法を一緒に考えます。必要に応じて、最寄りの相談機関を紹介したり、専門家と一緒に解決方法を見出したり、自立に向けたお手伝いをします。



地域で支え・認め合い、つながりを広げ、誰もがしがあわせな社会を創りましょう！

特定非営利活動法人 **NPO ホットライン信州**

個人と親子両面に対応した支援の重要性

コロナ禍の影響による離職や離婚、生き辛さを抱えた親子の相談が増え、子どもにも心理的貧困という負の連鎖がみられ、画一的なサービスやケアではなく、個人と親子両面に応じた柔軟な支援方法による、人・物・食・心を繋ぐ地域を巻き込んだ、行政・企業・福祉団体のつながる力を活用して、SDGs の3つの意義(①社会的包摂、②環境、③経済)を基軸に取り組んだ。

居場所・子ども食堂へのニーズの高まり

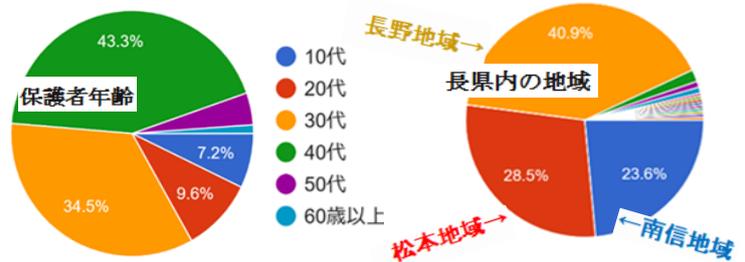
コロナ禍と急激な物価高騰による生活困窮家庭の負担増が見られ、こうした家庭への支援が求められています。また、食品ロスを避けたい企業等の食品・物品提供ニーズも増えており、受け皿に各地の



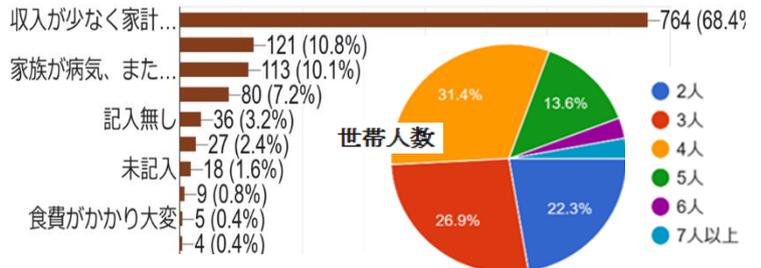
様々な相談に対応した、ケアについてのケース会議

生活困難者家庭と要支援者の聞き取り

生活支援 9,640 人から 1,582 人の聞き取り調査



支援を希望する理由を教えてください



相談者の声声・・・「長引くコロナ禍で仕事量が減り所得も激減した。仕事も少なく、家計を圧迫し限界にきている」、「生活費がかかりすぎて毎日が不安。食材の支援が本当にありがたい、食料支援がないと生きていけない・・・」など、切実な訴えがあとを絶ちません。さらに「物価高騰は食費に回すお金がなく、食費や光熱費、ガソリン代などの値上がりで本当に苦しくて生きていけない」などの訴えがいまもなおつづいている。

地域で支え・認め合い、つながりを広げ、誰もが幸せな社会

信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂が核となり、まちのプラットフォームとして、食育・対面・学習・就労・生活支援などの実施をしてきた。

子どもの居場所が向き合っている子どもたちの現状に寄り添い、**子ども食堂をまちのプラットフォームにするために、NPOホットライン信州が取り組んでいる3つ**

県内 **150** 力所 **674** 回 **55,936** 人が参加

2022年4月～2023年3月までの集計

月数	子ども	おとな	合計
4月	2,116	1,413	3,529
5月	3,325	1,861	5,186
6月	2,379	1,807	4,186
7月	3,427	2,360	5,787
8月	3,231	2,400	5,631
9月	3,071	2,066	5,137
10月	3,728	2,634	6,362
11月	2,445	1,454	3,899
12月	2,902	1,665	4,494
1月	2,698	1,572	4,343
2月	2,399	1,432	3,831
3月	2,126	1,425	3,551
合計	33,847	22,089	55,936

子ども食堂
を通じた
食糧支援

24時間
365日の
無料相談

子ども食堂
がつなぐ
相談支援の
サポート

それぞれの「子ども食堂」で相談内容を聞く
⇒対応策を検討し支援に入る

つながりの入り口



日時	食堂名	子ども	大人	合計
12月3日	信州子ども食堂inパロー南松本	75	47	122
12月5日	上田市 子どもレストランきらっと	46	47	93
12月8日	信州子ども食堂in松本 どん八	56	62	107
12月10日	長野市 寺子屋カフェ	30	21	51
12月11日	クリスマスぶちイベント	250	263	513
12月11日	安曇野市 cocoroカフェ	41	34	75
12月11日	信州子どもhappy食堂 えんぱーく	62	30	92
12月11日	信州子ども食堂ことぶき小さな食堂	4	2	6
12月11日	信州子ども食堂with温泉寺	73	68	141
12月13日	ゆいまーる子ども食堂 島立公民館	58	16	74
12月15日	子どもとおとな食堂 アップルツリー	20	33	53
12月16日	長野市 にっこりひろば	19	3	21
12月17日	長野市さんぽんやなぎ にっこりひろば	21	71	92
12月17日	長野市 信州子ども食堂	118	62	180
12月17日	信州子ども食堂inこもろ	29	28	57
12月17日	信州子ども食堂inすわ ちゃんちゃんこ	96	43	139
12月17日	みんなでごはん IN えがお 茅野市	25	38	64
12月19日	松本市 寄り添い子ども食堂	62	61	123
12月20日	松本キッズリユース信州子ども食堂	302	248	550
12月24日	信州子ども食堂まつもと学び塾	56	51	107
12月25日	信州子ども食堂inまつもと学び塾	85	30	115
12月25日	安曇野市 cocoroカフェ	40	37	77
12月25日	長野市 学生応援	32	5	37
12月25日	長野市 女性応援	17	5	22
12月27日	長野市 寺子屋カフェ	28	15	43
12月30日	信州子ども食堂inまつもと島内	71	51	122
12月31日	年末応援イベント(長野市むすびや)	12	36	48
12月中	きずな子ども食堂宅配便(松本)	92	100	192
12月中	茅野市 コミュ・きっちん天香	553	156	709
12月中	須坂市 プラザ食堂	250	43	293
12月中	富士見 カフェ&スペース ひこうせん	279	27	306
	合計	2,902	1,665	4,494



子ども食堂
がつなぐ
相談支援
のサポート



「ホットライン信州」が県内各地で開催 弁当や食料品など配布

こども食堂を通じた食糧支援



NPO ホットライン信州の松本地区拠点で各こども食堂が受取



2022年度3月までの支援物資は、年間1,020,261数の152ト

NPOホットライン信州支援物資取扱量															
2022年4月～2023年3月															
	NPOホットライン信州		松本市 本部扱い		JAグリーン長野・企業担当塚田		さんぼんやなぎ		Gプロジェクト		古里カフェ		寄り添いこども食堂		
	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	
2022.4月	31,505	6,757	14,393	2,437	11,390	1,922	1,640	380	3,204	1,700	488	208	390	110	
5月	233,037	16,737	211,120	12,321	16,810	2,870	1,560	260	1,135	486	2,052	680	360	120	
6月	32,166	8,380	14,864	3,880	11,705	2,967	1,120	280	1,445	605	2,142	428	890	220	
7月	92,903	22,377	39,780	11,715	39,765	7,570	2,560	680	1,221	288	8,377	1,544	1,200	580	
8月	87,908	14,239	32,103	4,924	43,320	4,915	1,265	565	7,184	2,589	2,236	356	1,800	890	
9月	62,054	11,332	21,497	3,682	24,790	3,185	3,500	1,200	2,874	2,164	7,960	316	1,433	785	
10月	70,816	11,480	34,819	6,181	32,350	4,121	1,800	500	787	298	190	190	870	190	
11月	79,314	14,048	55,510	7,660	19,192	2,835	2,200	650	132	2,403	680	120	1,600	380	
12月	134,918	18,638	108,076	12,971	18,800	2,518	2,200	720	2,400	1,300	652	258	2,790	871	
2022.1月	41,173	5,805	23,660	2,152	10,710	1,645	2,600	250	1,273	920	250	160	2,680	678	
2月	68,539	12,494	47,735	8,263	9,275	1,732	2,500	156	3,014	645	3,609	278	2,406	1,420	
3月	85,928	9,993	54,080	4,123	22,670	3,190	1,800	300	4,926	1,440	557	128	1,895	812	
合計	1,020,261	152,280	657,637	80,309	260,777	39,470	24,745	5,941	29,595	14,838	29,193	4,666	18,314	7,056	



こども食堂を通じた食糧支援県内8カ所のロジ拠点



こども食堂の持続可能な活動を支えるために



コロナ禍と物価高騰に苦しむ「ひとり親家庭の実態!!」

24時間
365日の
無料相談

コロナ禍と物価高騰
に苦しむ「ひとり親家庭
等の支援活動」ほか

相談件数 5,344 件
物資配布 10,460 件
食堂参加 56,000 名



信州子ども食堂で子どもと親の相談を受けている。

各社テレビでも放映される



相談内容は、近年の物価高騰に、母子家庭の悩みは多岐にわたり一層深刻化しており、次から次へと相談は尽きない。



内閣府の「孤立・孤独悩み」
相談にも、NPO ホットライン
信州も相談に対応しました。

声の向こう
底見えぬ
孤立

「信州子ども食堂ネットワーク便り」1,000号を超えました！

2016年1月に、長野県初の「信州子ども食堂」を開催し、同年2月に「信州子ども食堂ネットワーク」を発足しました。同年9月に、東京で「広がれ子ども食堂の輪」のキックオフイベントが行われそれをスタートに信州子ども食堂ネットワーク便りが発行されました。その間、多くの各子ども食堂の情報共有をすることを目的に、ネットワーク便りを発信しつづけ、2022年10月29日松本市花時計公園での「ときめき♡子ども食堂」650名参加のネットワーク便りが1000号を迎えました。

本来は、記念イベントを開催するところですが、長引くコロナ禍で開催が難しいために、本事業の報告書に掲載させていただきました。

これまでの多くの子ども食堂に関わっている皆さん方の、「子どもたちに笑顔と喜びを…創造する熱い思い！」が伝わってきます。この「お便り」が、未来を考え創る糧となること、そして地域に信州子ども食堂ネットワークの輪が広がり、みんなの心と心が繋がる「力！」で、子どもが気軽に歩いて行ける通学区に「広がれ！信州子ども食堂の輪」370カ所を目指して頑張りましょう！！

<信州子ども食堂ネットワーク便り> 2016年10月1日 No.001

子ども食堂の輪 全国ツアー始動

東京都内でキックオフイベント



各地で広がる「子ども食堂」をさらに広げるための全国ツアーがスタートしました。

「地域に住むみんなの取組み」へ

キックオフイベントを主催した実行委員会副代表でNPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長の栗林知給子さんが、ツアーの開始を宣言し、「地域で困っている子どもやお母さんに出会い、自分にながることができるのかを考えた一つが、子ども食堂。地域の住民やさまざまな団体につながり、子どもたちにながることができるのいっしょに考えていきたい。子どもたちの笑顔が増え、広がる取り組みにしてほしい」と、想いを語りました。



2016年9月28日に東京都内で開かれた「広がれ！子ども食堂の輪！」全国ツアーキックオフイベントでの集合写真。全国ツアーに関する情報は、ホームページで見ることができます。http://kodomoshokudo-tour.jp/

全国ツアーの開始を宣言した栗林さん

キックオフイベントを主催した実行委員会副代表 平野寛治さん(全国食支援活動協会)が、「広がれ子ども食堂の輪」の全国ツアーの説明をスタートしました。

長野県での取り組みを事例報告

第2部は、地域との連携を促すために、各地で「子ども食堂」に取り組んでいる事例報告を受けパネルディスカッションを行いました。長野県からは、長野県みらい基金の高橋理事長と信州子ども食堂ネットワークの青木事務局長(写真上・左)が報告し、県内での取組実績と様子などを、写真を交えて紹介しました。

「広がれ！子ども食堂の輪！」全国ツアーキックオフイベントの様子は、YouTubeで見ることができます。https://www.youtube.com/watch?v=0QJ2xSid1Q

全国ツアーの説明をする平野さん

長野県内での信州子ども食堂の実績報告をする、青木事務局長

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局
無料相談・問い合わせ ☎ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ http://hotline-shinshu.jimdo.com/ 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

<信州子ども食堂ネットワーク便り> 2022年11月18日 No.1000

ハロウィンに ときめく催し

松本市 ときめき♡子ども食堂



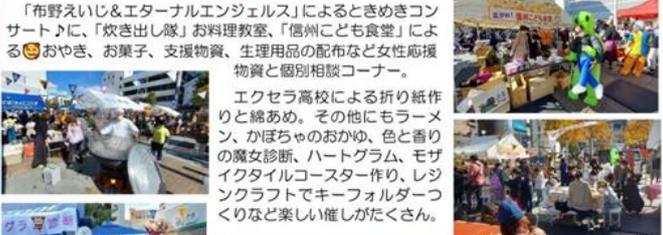
10月29日(土)ハロウィン、松本市花時計公園で「ときめき♡子ども食堂」が開催されました。松本深志ライオンズクラブ主催にNPOホットライン信州(信州子ども食堂まつもと)も加わり、子ども420名含む、約650名が参加しました。



エクセラ高校生による折り紙作りと美味しい綿あめに、子どもたちの長蛇の列が続きました。

「布野いじ&エターナルエンジェルス」によるときめきコンサート)、お料理教室、「信州子ども食堂」によるおやき、お菓子、支援物資、生理用品の配布など女性応援物資と個別相談コーナー。

エクセラ高校による折り紙作りと綿あめ。その他にもラーメン、かぼちゃのおかゆ、色と香りの魔女診断、ハートグラム、モザイクタイトルコースター作り、レジクラフトでキーホルダーづくりなど楽しい催しがたくさん。



エクセラ高校生による折り紙作りと美味しい綿あめに、子どもたちの長蛇の列が続きました。

公園では、サンエイさんのお菓子、都市大塩尻高校生が集めた本やぬいぐるみなどの配布(市民タイムスに掲載)、紙芝居などを楽しみました！



エクセラ高校生の美味しいポップコーン

帰りのお土産は、サンエイさんからのお菓子、お米、ベネフレックス様から飲料水、玄向寺様ドーナツ・長野牛乳や野菜、たまごパン・チョコレート・生理用品など。

みんな大喜びでした。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

都市大塩尻高生の物資配布

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休職給金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ ☎ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ http://hotline-shinshu.jimdo.com/ 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます

<信州子ども食堂ネットワーク便り> 2023年02月28日 No.1045

開始前から行列 高校生が大活躍

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



2月25日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、開始前から長い行列！子ども68名を含む118名が参加。エクセラ高校生のポップコーンや美餅などを飲みながら海鮮丼を美味しく食べました。



公園では、サンエイさんのお菓子、都市大塩尻高校生が集めた本やぬいぐるみなどの配布(市民タイムスに掲載)、紙芝居などを楽しみました！



エクセラ高校生の美味しいポップコーン

帰りのお土産は、サンエイさんからのお菓子、お米、ベネフレックス様から飲料水、玄向寺様ドーナツ・長野牛乳や野菜、たまごパン・チョコレート・生理用品など。

みんな大喜びでした。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

都市大塩尻高生の物資配布

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休職給金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ ☎ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ http://hotline-shinshu.jimdo.com/ 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます

共食で つながる 力！

物流施設を見学して意見を交換

長野市・上田市 信州子ども食堂ネットワーク



9月14日（水）～15日（木）に、全国食支援活動協力会の合同研修（15名）が行われました。ここ数年、企業からの食材提供が増加していることに伴って大型配送と受入れができる「ロジハブ拠点」と「信州共食の原点」を体感していただきました。

14日は、上田市で10トントラックに対応でき、大型冷蔵冷凍倉庫を完備している「まるこ福祉会」と、長野市で食料調整できる機能を備えた拠点「むすびや」を視察しました。



▲ まるこ福祉会の視察

◀ 「むすびや」を視察



15日午前中は、北海道・山口・鳥取・長野・チャイルド・食支援13名による「食の物流ネットワーク整備プロジェクト」中間評価の実施状況と全体「MOWLSプログラムの進捗共有」について、「いろは堂」さんの応接室で会議を行い、その後「おやきファーム」の工場を視察しました。



おやきの種類が豊富で、おやきづくり体験ができるキッチンや、製造工程が見られるガラス張りの工場、屋上のテラスなどを見学し、今後の子ども食堂の広がり確信しました。

11/12「共食フェスタながの」実行委員会

午後は、旭寮の大会議室で、11月12日に開く「共食フェスタながの」実行委員会。食支援活協・県・社協・企業・各種団体・信州子ども食堂ネットワーク27名で意見を交換し、①子ども食堂370カ所をめざす、②食の物流ネットワークの整備、③食支援・行政・企業・団体との連携強化について等など、今後の「共食」に向けての意思結集しました。



共食で つながる 力！

食でつながる 地域を支える力

群馬県 食でつながるフェスタ in ぐんま



10月24日（月）、群馬県で開かれた「食でつながるフェスタ in ぐんま」。
行政や社会福祉協議会、民生児童委員、福祉団体、こども食堂、企業ら約 100 名が集まって、食をつうじて地域を支えるつながりを強めました。😊



丸茂実行委員長、平野全国食支援協会専務のあいさつに続き、NPOホットライン信州の 青木専務が「広がれ！信州こども食堂ネットワーク」の取り組みを報告。



長野県の名物「おやき」と「長野牛乳」を試食用として配布しました。



※ 長野県内で協力企業である、長野牛乳様の牛乳というのは皆様のおやきを例に、企業との食のつながりの強み！を紹介しました😊。



2022年10月25日（火）上毛新聞

企業の力！と協働で多大なる成果を上げる。



会場からの多くの質問が出された

群馬県の各事例報告と目崎副委員長によるディスカッションでは、「自治体や企業、各支援団体や住民がつながり、地域で支え合っていく！」との意思が結集し、力を合わせるフェスタになり、群馬と長野もつながりも深まりました😊。

共食で つながる 力！

共食でつながる力 ひと・企業・地域と

長野市 共食でつながるフェスタながの



11月12日(土)、昨年が続いて開催した「共食でつながるフェスタながの」には、約100名(zoom含む)が参加。NPO ホットライン信州村上晃理事長の挨拶から始まり、1部「企業の力」では、NPO ホットライン信州と全国食支援活動協力会・首都圏物流グループ、長野牛乳さんらの活動報告など。「心と心が繋がり～ありがとう！」という関係で 企業と子ども食堂が繋がって、様々な資源を有効に活用することを確認しました。



村上晃理事長



2部の「若者・ボランティアの力」では、中学・高校・大学生の活躍で、子ども食堂に活気が出てくる。子ども達もお兄さんお姉さんに憧れる😊。また、若者たちも大人たちとの交流によって視野を広げることにもつながる😊。

子ども食堂を支援する側から、キューピー未来たまご財団の助成事業の報告に続き、子ども食堂と児童養護施設との取組報告が行われました。

最後の総括で、県次世代サポート課の井原係長は、「報告で感銘を受けたのは『人が繋がれば人が変わる、地域が変わる』との報告。一番は、『同質の協力は和である。異質の協力は積である』同じような人がやっているよりも、多様な人と人が連携することで、『不可能も可能に出来る！』ということで、今回参加した方も、色々な方と連携していくことであり、自分は何ができるかを考えて行動していただきたい」と、まとめました😊。



青木専務理事の報告



食支援 平野専務理事の提案



長野牛乳瀧本社長の取り組み

若者のチカラ

まるこ福祉会×若者ボランティア(上田市)
旭豊×長野商業高校JRC・レオクラブ(長野市)
かみとくま食堂の取り組み(千曲市)



コロナ禍と物流高騰急激に広がった「生活困窮家庭」の底割れした家庭と日本社会を どう立て直すか……

どの原点は⇒ 認め合い 協働すること
同質の協力は和である。
異質の協力は積である。

困っている人の「たまり場」を作る事！
子ども食堂には、リアルな生活 課題 が 集まる！
貧困+孤立を防ぐネットワーク



(公財) キューピーみらいたまご財団の想い

2023年度助成事業の説明 ～子ども居場所団体を応援～

はじめに キューピーの社会活動

キューピーの社会活動のキーワードは「子ども」食育！
ベビーの産 工場見学 職業体験
1960年産 1960年産 1960年産 1960年産
1960年産 1960年産 1960年産 1960年産

キューピーのステパナビリティ目標
子どもの心と体の健康支援
2030年までに、グループの専業主婦に比べる子ども食堂の数を、100%以上とする。
(2019年度中身の数) 2023年度までに22,451人

子ども食堂と児童養護施設
～子ども若もの広場プロジェクト～
長野県社会福祉協議会 NPOホットライン信州の取り組み 橋田 浩氏



共食で つながる 力！

コロナ禍と物価高での 多角的な寄り添い支援

長野北東ロータリークラブ・松本市芳川地域づくり協議会



信州子ども食堂ネットワークの事務局を務めるNPO ホットライン信州は、長野市の長野北東ロータリークラブと松本市の芳川地域づくり協議会の活動家の皆さんに、24 時間 365 日の無料相談・生活支援物資の配布・子ども食堂の取り組みについて講演し、「食を通じた地域の見守り、子どもを中心につなごう!!」と参加者全員で心合わせをしました。



長野北東ロータリークラブで講演

2023年1月23日、長野北東ロータリークラブの4月例会が開催され、「コロナ禍と物価高騰で厳しい生活を余儀なくされている家庭への多角的な寄り添い支援活動」をNPO ホットライン信州の青木専務が報告し、みんな、未来ある子どもを育てよう！と 支援を呼びかけ賛同を得ました。



長野北東ロータリークラブ様からご寄付をいただきました。



松本市芳川地域づくり 協議会学習会

松本市芳川地域づくり協議会での同学習会が2月11日に開催され、約50名の民生児童委員や職員の方たちが参加しました。

皆さんは関心が深まり、具体的に子ども食堂をやってみようという…機運も盛り上がり、今後は楽しみにになりました。



会場からも、様々な意見や決意が述べられました。

松本市芳川地域づくり協議会様からご寄付をいただきました。



<講演内容の一部>

長期化するコロナ禍で精神的課題を抱える子育て家庭層など社会的排除を受けやすい人が増えている。社会的な孤立による事件や自殺者が急増している。質が異なるNPOとロータリークラブや企業・地域が「つながる」力でパワーを発揮する。ともに協働の力あわせで取り組みたい。

子ども食堂が
つながり
相談支援
のサポート

つながりの
入り口



それぞれの「子ども食堂」で相談内容を聞く
⇒対応策を検討し支援に入る

相談内容を聞く⇒支援内容の検討

案件の内容により
「ケース会議」を開催



コロナ禍の活動!

地域で支え合い おすそ分け会

上田市 さなだおすそ分け会



5月8日(日)、上田市真田町長で「さなだおすそ分け会」が開かれました。昨年の「フードバンク&フードパントリー」では、高齢者などには分かりにくいということで、本年度は名称を変えての実施となりました。



NPO ホットライン信州は、「子ども&女性応援プロジェクト」で参加し、約100名の方にチーズや野菜ジュース、タオル、生理用品を配布しました。1時間ほどで予定の100名分の支援物資はすぐになくなってしまい、在庫分を出しました。子どもたちは、おいしい野菜ジュースをみて大喜びでした



七夕ピンバ作り !! 松本市 子ども食堂はらぺこあおむし

6月25日(土)に開いた第18回「子ども食堂はらぺこあおむし」には、子ども58名を含む159名が参加してくださいました。

お弁当のメニューはピンバ。七夕が近いので、お星様とハートのスティックをデコレーションしました☆♥



ピンバのキムチは、塩尻市のピクルスコーポレーション様から無料でご提供いただきました☺。コロナも治まりつつあり、学生ボランティアさん(中学生2名高校生9名大学生3名)も参加してくれました☺



コロナ禍の活動!

わくわくな体験 夏フェスタ

長野市 信州子ども食堂



7月16日(土)の信州子ども食堂は「夏フェスタ in 桜スクエア」。長野市役所広場を会場にわくわく体験をしました。



3年ぶりに開いた大規模なイベントには、多くのブースが並び、天気にも恵まれ、子ども240名を含む420名の大勢の皆さんに楽しんでいただきました。



夏休み中に交通事故に遭わないように、長野県警とJAF様には交通安全のブースを。消防署からは地震体験車による防災のブースを。育児を頑張るママさんにも一時的癒しをと、ポーラ様にはハンドマッサージを出店いただきました。

また、手作りのエコバックやオリジナル傘作り、万華鏡作り、ひょうたんランタンや思い思いの作品を作り上げるコーナーも設置。

作品を作り上げたあとは、お楽しみゲームやスイカ割り、アウトドア体験など、笑顔弾ける楽しい時間を過ごしました😊。



会場では、おやきやお米そして野菜などが、手作りのエコバックいっぱい配布されました。

初めて来た家族は、「まさかこんなにいっぱい無料でもらえるなんて、非常に助かります」と、感動と笑顔があふれた一日でした😊。



多くの親子連れでにぎわう様子は7/19日(月)にテレビ信州で配信されました。

インタビューに答えた参加者の声「はじめて来ましたが、無料でこんなにたくさんもらえて嬉しくて最高です」、「はじめてです。SNSで知りました。非常に助かります」、子どもたちは「楽しいでいます!」と元気な笑顔でした。



子どもに人気のかき氷を作っていたのは、長野商業高校2年生の篠原多緒さん。

県内でこども食堂がはじまった2016年当時、小学生だった篠原さんは、こども食堂を利用していたひとりです。

篠原さんはインタビューに「お手伝い。箸を運ぶだとか食器を運ぶとか、そういうことからはじめていろんな人が笑顔になるのを見て、これは楽しいなということで、どんどんこども食堂ボランティアを積極的にやるようになりました」と答えていました。



コロナ禍の活動!

畑仕事や夏祭り 楽しみいっぱい

諏訪市 信州子ども食堂 with 温泉寺



諏訪市温泉寺で開く「信州子ども食堂 with 温泉寺」。4月10日(日)は3回目となるドライブスルー形式で、子ども68名と大人78名の計146名が参加しました。お弁当は「仕出し弁当 峠」さんとNPOホットライン信州からのチキンフィレ、あんころ餅、よもぎ餅、たくさん頂いた食材を配布した。



5月21日(土)は、子ども66名と大人75名の計141名が参加して、4回目のドライブスルー形式での子ども食堂と、近隣の畑で“しょうが”と“さつまいも”の苗を植える畑体験。学校や地域行事が少ない中、貴重な体験ができました。



しょうがは横一列に並んで植えました。さつまいもは13の畝に約100本の苗を「ななめ植え」して、空いた場所に“じゃがいも”を20個ほど植えました。雨で土がぬかるんで大変だったけど楽しかったね。



5月29日(日)は、上諏訪中学校の諏訪湖清掃におにぎりを提供しました。今回が3回目。予想を上回る126名とほとんどの生徒が参加しました。



伝統的な諏訪湖清掃に関われ、少しでも喜ばれたら嬉しい限りです。ありがとうございました。

6月12日(日)は、温泉寺での1月以来の“復活”開催。「子どもが朝から『早くいきたい!』と大変でした」とあるお母さん。それほど再開を楽しみにしていたんですね! うれしいかぎりです。



お弁当や食材を 求め 800 食配布

塩尻市 信州子ども食堂えんぱーく



7月30日(土)、塩尻市えんぱーくで「子ども・若者応援フェスタ」でシンポと子ども食堂が開かれました。

第1部の「子ども・若者応援シンポジウム」では、塩尻市で子どもの貧困対策推進計画、若者支援プランを策定した委員6名によるトークリレーが行われ、子ども・若者への支援について共に考える良い機会となりました。

第2部の「信州子ども食堂えんぱーく」では、共催したNPO ホットライン信州がお弁当や食材、生活支援物資、おさがり会などを開催し配布しました。



コロナ感染レベル5を受け、炊き込みご飯を作る「共食・食育」は中止し、作り立てのほくほくご飯にヨシケイ弁当 800食や野菜の煮物やゼリーなどを配りました。

開始の1時間前から長蛇の列となり、3蜜を避けて予定1時間前から配りはじめ、520名

子どもシンポジウムが午前中に開催

第1部 子ども・若者応援シンポジウム

講演 「すべての子ども・若者の希望のために」

信州大学 教職支援センター 准教授
学術研究課 総合人間科学系(地域連携部) 荒井 英治郎 氏

専門は教育学。学校や教育委員会が直面する課題解決や地域連携のコンサルティング等の提案を行っている。令和3年度から塩尻市子ども・若者応援協議会 会長を務める。

トークリレー「子ども・若者のために大人ができること」

松本大学 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授 今村 篤史 氏

専門は社会福祉学。社会福祉士。ひとり親家庭支援、生活保護制度等の研究を行っている。令和3年度から塩尻市子ども・若者応援協議会 副会長を務める。

NPO法人ジョイフル 理事長 横山 久美氏

平成13年にジョイフル設立。ひきこもり、不登校、ニートなどさまざまな悩みを抱える子ども・若者の自立や就労に関する相談、支援を行っている。

NPOホットライン信州 専務理事 青木 正照 氏

24時間365日の無料電話相談、面談同行・生活必需品の提供により、生活困窮者やひとり親世帯などを多面的に支援している。「信州子ども食糧ネットワーク」の事務所を担い、県内に広がりを見ている。

塩尻市長 小口 利幸

「子育てしたくなるまち日本一」を目指すことを市政の最重要テーマに掲げ、5期20年、市長として、子育て支援の取組を充実させてきた。

塩尻市教育長 赤羽 高志

教員を37年勤め、令和元年から教育長に就任、本年6月に再任。現場の声、子どもの笑顔を大切にしている。

信州大学 教職支援センター 准教授 荒井 英治郎 氏

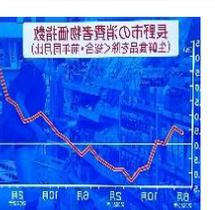
すべての子どもの現在と未来に希望を
すべての若者に自分らしい人生の実現を

塩尻市では、子どもの貧困対策推進計画、若者支援プランを令和4年3月に策定しました。この計画の目標の実現に向け、施策の充実に取り組みしてまいります。今回は、地域の皆様へ計画の概要をお知らせするとともに、子ども・若者への支援について、共に考える機会とします。

(内子ども250人、大人270名)にお渡ししました。

多くの皆さんから「急激な物価高の中、とても助かります」と、感謝の言葉をたくさんいただきました。また、同時開催した「おさがり会」には、120名の方から1,600点の衣類が持ち込まれ、多くの方に持ち帰っていただきました。

8月1日のNHKイブニング信州で放映されました



コロナ禍の活動!

キリスト教会で 夏休みの食堂

松本市 夏休み子ども食堂



8月11日(祝・木)、松本市の日本キリスト教団松本教会で初めて「夏休み子ども食堂」が開催されました。



ヨシケイさんのお弁当に、ほくほくのご飯 60食とお米、お菓子やタオル非常食などの支援物資を配りました🥰。



運営スタッフのみなさん

松本教会の皆さんのご協力により、コロナ禍の中、また物価高の中で生活にゆとりのもてない方、特に小さなお子様のいるご家庭の方、「明日をどう乗り越えていこう」そんな気持ちでいらっしゃる方々の励みになりました🥰



ひとり親家庭などのご家族向けに、支援物資を袋詰めしました。9月19日までに下のQRコードからお申し込みいただければお配りします。最寄りの「信州子ども食堂ネットワーク」でお受取りください。



夏休み最後に出張こども食堂

長野市 出張！信州こども食堂 in 裾花小学校



8月18日(木)～19日(金)、長野市立裾花小学校で開いた「出張！信州こども食堂 in 裾花小学校」には、延べ子ども100名を含む128名が参加しました😊。

いつもは、ふれあい福祉センターで開催している「信州こども食堂」ですが、学校に出張して開くことで、今までこども食堂を知らなかった方にも広く知ってもらい、利用してもらおうきっかけとなりました。

また、夏休み明けの行きしぶりや、不登校などが毎年問題になっている中、始業式の前に学校に行くことによって学校へ行くハードルを下げようという試みもありました。



18日夕方のSBCテレビで放映され、信濃毎日新聞と長野市民新聞にも掲載されました😊



各教室と体育館で、ポッチャ、新聞紙エコバッグ作り、雑巾縫いなどを体験しました。どの場所からもにぎやかな声が聞こえてきて、楽しく体験ができました😊。

1年生の女の子は「針を持つのも縫うのも初めて」でしたが、ていねいにひと針ひと針ぞうきを縫い上げました😊。

新聞紙エコバッグでは、新聞記事の絵柄の気に入った場所を表に出すようにレイアウトをし、取手の部分は付けずクラッチバッグ風にアレンジした男の子がいました😊。

体育館でのポッチャは、白熱した試合で盛り上がっていました。



帰りは、冷凍のおかずお弁当とパックご飯、ボランティアさん達が調理室で作ってくれたおやきとフライドチキンが入ったおかずパック、ゼリーを受け取り解散しました😊。お土産に、カロリーメイト、ミンティア、ライスクッキー、パスタソース、防災パン、α化米などが入った大きな袋を貰いました。



台風被災地支援 出張こども食堂

長野市 古里こどもカフェ



7月10日(日)の古里こどもカフェは11時から、アグリながぬま第2駐車場で「被災地支援出張こども食堂」を開催しました。

猛暑の中、子ども55人を含む121名の参加者、ぷよぷよ金魚すくい、ぷよぷよボールすくいなどを楽しんでいました。



NPO ホットライン信州から寄贈されたお弁当、お菓子。県社協から寄贈されたパックご飯、食材配布しました。



ヨシケイ様の冷凍弁当がとても、美味しく喜ばれました。



会場に来れない方25世帯へ宅配しました。皆さん大喜びでした。

8月11日(木)、長野市のふれあい福祉センターでピアニスト中川真由美さんのピアノコンサートを開催しました。こども52人含む110人の参加者でした。

竹内まりやさんの「いのちの歌」弾き語りは、「いつかは誰でもこの星にさよならをする時が来るけれど命が継がれてゆく生まれてきたこと、育ててもらえたこと、出会ったこと、笑ったこと、そのすべてにありがとう、



この命にありがとう」と、参加者の皆さん涙を流して感激していました。小さな子供達もしっかりイスに座って聞いていて偉かったです。帰りにお弁当、お茶、お菓子、食材を提供しました。



弁当や菓子等を配って家計支援

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



8月27日(土)、松本市の「学び塾」では、お昼から夕方まで約120名の親子らへ王将弁当・かき氷・フルーツ・おやき・お菓子などを提供しました。



夏休みも餃子の王将弁当頑張るぞ!!



春休みに続き、夏休みも餃子の王将様よりお子様弁当を提供いただきました。向かいので芝居を観ながら、でき立ての王将弁当やかき氷を美味しく食べている参加者の方の笑顔に、元気をもらいました!

いろは堂様のおやき、長野牛乳様の川中島白桃のドライフルーツ、お米、野菜、レトルトカレー、子どもたちにはお菓子の詰め合わせなど、今回も多くの企業様・農家様等のご協力でたくさんのお土産をお渡することができました!

大人気の川中島白桃のドライフルーツは、そのままでももちろん美味しいですが、ヨーグルトに入れ少し置いてから食べてみてください! 桃が柔らかくなり、違った楽しみ方が出来ますよ~!



高校生の紙芝居を聞き入る親子 ↓ 学び塾で勉強する子どもたち

信濃毎日新聞 2022年8月30日 火曜日



家計支援の弁当 松本駅前配布

ホットライン信州

NPO法人ホットライン信州(松本市)は27日、松本市の松本駅前記念公園前で子ども食堂を開き、弁当や食料、生理用品などを親子連れらに配った。

子ども食堂で弁当や菓子を受け取る子どもたち

子ども食堂で弁当や菓子を受け取る子どもたち

新型コロナウイルスの影響による収入の減少や、物価高で家計が厳しい家庭に向けた支援。飲食チェーンから提供を受けた弁当や、菓子の詰め合わせなどを手渡した。小学生の長女と未就学児の長男がいる市内のパート従業員女性(35)は「子ども食堂が毎月開かれ、子どもも喜んでい」とうれしそうに話していた。

同法人の青木正照専務理事によると、物価高で子どもが多い家庭などが食べ物に困るケースがあり、食料を求める声が増えているという。同法人は今後も定期的に子ども食堂を開く方針。



学び塾で勉強に取り組み、日本漢字能力検定を受験した2名が見事に合格しました! がんばったね。おめでとう。



たてしなで初の わくわくフェス

立科町 たてしな “わくわく” フェス



「第1回たてしな“わくわく”フェス」が9月3日（土）、旧中山道芦田宿で行われました。

参加者は、子ども144名と大人201名の345名でした。開始1時間前は大雨。開催中も雨が降ったりやんだりして天候には恵まれませんでしたが、たくさんのお子さんや親御さんにご来場いただきました。



子どもによる縁日ゲーム、高齢者によるわら・竹細工づくり、芦田宿本陣の見学会、さをり織り・消しゴムはんこ・チェーンソーアートの販売、キッチンカー広場などたくさんの“わくわく”を楽しんでいた



また、「子ども・女性応援プロジェクト」として、NPO ホットライン信州さんから提供いただいた生理用品や子ども用マスク・離乳食などの配布も行いました。この活動には、蓼科高等学校福祉コースの2年生3人がボランティアで参加してくれました。

コロナ禍の活動!

未来マルシェに たくさんの笑顔

松本市 まつもと未来マルシェ信州こども食堂



9月18日(日)、松本市のONE-PARKが、小中学生や高校生と市街地の事業主と一緒に作る催し「まつもと未来マルシェ」を開催しました。



たくさんの風船アーチ
でお出迎え

「信州こども食堂まつもと」も出店し、子ども360名を含む580名に、約1000点1トッをお渡し、コロナと物価高騰に苦慮している女性や家族に喜ばれ、子どもらの笑顔があられました。

子どもたちが市内の飲食店と協力して作ったオリジナル商品を販売したり、ステージでダンスや演奏を披露したりして、信毎メディアガーデンににぎわいを呼び込みました。



子どもたちは、ステージで
ダンスや演奏を披露

ドーナツやお菓子のつかみ取りが、子どもたちに大人気。お茶・ジュース・みそ汁のもと・カロリーメイト・タオル・マスクなどを配布しました。



除菌ウェットティッシュや生理用品など
約1000点が次から次へと配られました



コロナ禍の活動! ←

キッズリユース ひろばでこども食堂

松本市 信州こども食堂まつもとキッズ



9月27日(火)、11時~14時、松本キッズリユースひろばで「信州こども食堂まつもとキッズ」を開催しました😊。

子ども328人含む596の方が、お弁当、おやき、ドーナツ、食材やお菓子、タオルなどを持ち帰りました😊。



待ちわびる 女性の皆さん



次から次と親子が連れ長蛇の列が続きました



お菓子のつかみどりとドーナツの配布



「松本キッズリユースひろば」とは

ごみの減量化と子育て世代への支援を目的として、家庭で使わなくなった育児・子ども用品を回収し、欲しい人に無料で配布する松本市が行っている「松本キッズ・リユースひろば事業」の会場です。



子ども&女性応援では、生理用品などを届けてくれる女性や、「ありがたい、とても助かます」と持ち帰る女性268名が感謝してくれました😊。

コロナ禍の活動!

第50回の記念 豪華に大満足

上田市 こどもレストラン“きらっと”



毎月第1土曜日、上田市のまるこ福祉会で開く「こどもレストラン“きらっと”」。10月1日(土)の第50回の記念セミナーには、子ども45名を含む120名が参加しました😊。みんなで歌うパブリカや、高校生らの意見発表に続いて、柳澤理事長から感謝状の贈呈式が行われました😄。



メニューは、にぎり寿司とおいしいメロンなど豪華。参加者は大満足な様子でした。



50回を記念して、支援者32名に感謝状が贈呈されました。



学生3名が、こどもレストラン“きらっと”にボランティア参加した思いを発表しました。



コロナ禍と物価高を乗り切るためにと、帰りにNPO ホットライン信州から、ウーロン茶やカロリーメイト、駄菓子などの支援物資を配布しました😊。

子どもたちはお菓子など手に、大喜びの一日となりました😄。



コロナ禍の活動!

楽しく学んだ 秋の星座と星★

塩尻市 星空★信州子ども食堂



10月22日(土)、塩尻市の長野県生涯学習推進センターで開いた「楽しく星を学ぼう～星空★信州子ども食堂」が開催され、子ども34名含む82名が参加しました😊。



メニューは、おやき、サンドイッチ、ドーナツ、カロリーメイトやお菓子飲み物など。

初めて「子ども食堂に参加した」という皆さんも大喜びでした😊。

メインは、ふだん体験することのできない50cm大望遠鏡での観測と、楽しい3本の紙芝居。星空について学習してから、秋の星座や土星の環、木星の縞模様などの知識を深めました😊。



食事をしながら、子ども食堂の子どもスタッフから紙芝居「ぼくらの子ども食堂～SDGsのとりのくみ」と「ヤギのマサオ君 回る回るキャベツ」、そして実帰舎の家田さんの「星の使者 ガリレオガリレイ伝」を目と耳で感じとりました。



「初めて、子ども食堂のことが良くわかったので協力したい」、「塚田姉妹の紙芝居が良かった」など、とても喜んでいただきました。秋空の美しい星と子どもたちの笑顔いっぱいの時間でした

コロナ禍の活動!

ハロウィンに ときめく催し

松本市 ときめき♥こども食堂



10月29日(土)ハロウィン、松本市花時計公民館で「ときめき♥こども食堂」が開催されました。松本深志ライオンズクラブ主催にNPO ホットライン信州(信州こども食堂まつもと)も加わり、子ども420名含む、約650名が参加しました😊。



エクセラ高校生による折り紙作りと美味しい綿あめに、子どもたちの長蛇の列が続きました😊

「布野えいじ&エターナルエンジェルス」によるときめきコンサート♪に、「炊き出し隊」お料理教室、「信州こども食堂」による😊おやき、お菓子、支援物資、生理用品の配布など女性応援



エクセラ高校による折り紙作りと綿あめ。その他にもラーメン、かぼちゃのおかゆ、色と香りの魔女診断、ハートグラム、モザイクタイルコースター作り、レジンクラフトでキーホルダー作りなど楽しい催しがたくさん。



蟻ヶ崎高校書道部による「心ときめく『厚意』」の文字が高らかに掲げられ成功裡に終わりました。皆さんお疲れさまでした😊。

コロナ禍の活動!

フードドライブ で支援物資配布

松本市 松本中央ライオンズクラブ+信州こども食堂



11月19日(土)、松本合庁で、松本中央ライオンズクラブさんが「フードドライブ」を行い、集まった支援物資をNPOホットライン信州が受け取りました😊



松本中央ライオンズクラブのフードドライブと贈呈式

同時に「猛威を振るうコロナ禍と物価高騰で苦労している子どもと家族を支えよう!」と、お米・食材・生理用品・衣類など生活支援物資を配布しました。

キッチンカーでは、フライドチキンとおやきを配布。遊びコーナーでは綿あめとミニゴルフなど楽しみました。



参加者はフードドライブ 87 名と信州こども食堂 123 名(子ども 84 名)を含め総勢 210 名が訪れました。

また、支援いただいた物資は 6,740 点・1,578 ㎏でした😊。ご支援ご協力いただきました多くの皆さん、ありがとうございました。

雨上がりの公園 おいしいうどん

松本市 信州子ども食堂 in 学び塾



11月26日(土)は、朝から強い雨でしたが、「信州子ども食堂 in 学び塾」が はじまる頃にはすっかり晴れ、子ども56名を含む110名が参加😊しました。メニューは、松本市島内の讃岐うどんと、くろうまさんの😊おやき。110食用意したうどんも完食しました!



讃岐うどんと、くろうまさんの😊おやき。110食用意したうどんも完食しました!



讃岐うどんの大塚さんと松本ガスさんの共演によるつくりたての美味しいうどんを、公園へ運んで早速いただきました。



日本トイザラス様提供のゴルフゲームセットを使った「子どもゴルフ教室」は子どもたちに大人気! 松本記念公園で大人顔負けの打ちっぱなし大会になりました😊



高野山高の小池さんの紙芝居、エクセラン高校生のカラフルわたあめとビーズアクセサリー作り、カルタなどを提供してくれました! 子どもたちが作った作品をうれしそうに見せてくれました😊



帰りのお土産は、サンエイさんのお菓子、長野牛乳やおやき、ティンカーベルのたまごパン、波田のりんご、みかん、黒糖、凍豆腐、野菜、果物にお米などをいただき「ありがとうございます」と大感謝😊。ご協力いただきました皆様ありがとうございました😊

ぽかぽか

大きなお鍋で カレーうどん

松本市 信州子ども食堂 in 松本どん八



12月8日(木)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本どん八」には、子ども56名を含む107名が参加😊。メニューは、炊き出し隊みらい様によるカレーうどんとポップコーンでした😊。



大きな鍋の周りで食べるカレーうどん。体の外からも中からもぽかぽか！密を避けながらもみんな楽しく過ごしました！😊



第一生命松本支社様から、たくさんの日用品やぬいぐるみ等を寄贈いただき、さっそく子どもたちにお渡ししました！かわいいぬいぐるみを嬉しそうに抱える子どもたちの姿は、見ているこちらも嬉しくなります！



明治ホールディングスさん



今回もエクセラン高校生と信大生、松本秀峰生がボランティア活動していただきました😊。

さらに前日に引き続き、玄向寺様から子ども服が届けられました。



アポロさんからのお菓子

心がつながる みんなの力合わせで！子どもたちに笑顔と希望を！！

帰りのお土産には、玄向寺様からの野菜やお米、どん八さんのお菓子・お稲荷さん、龍堀石材店様からの長芋や太さんのりんご、長野牛乳やいろは堂おやき、たらみのミルク寒天、マスク、黒糖など。



野菜や果物、お米などをいただき、「ありがとうございます」と感謝😊。ご協力くださいました皆様、ありがとうございました



2022年12月11日(日) 中日新聞

カレーうどんでポカポカ

松本 NPOが子ども食堂開催



麵をゆでる大鍋のそばで暖をとる人たち＝松本市本庄1の松本駅前記念公園で

NPOホットライン信州（松本市）が八日、同市本庄一の松本駅前記念公園と近くの「信州子ども食堂in学び塾」で子ども食堂を開催した。提供したのは、地域の企業などから寄付を受けたポップコーンやカレーうどんなど、それぞれ百二十食。信州大の学生や市内のエクセルン高校の生徒らも手伝いに駆け付け、訪れた人に自ら作ったポップコーンを

振る舞った。カレーうどんの麵は屋外で大鍋を使ってゆでて、その周りで暖をとる人たちの姿もあった。子どもが好きたというエクセルン高二年の藤岡瞳さん（もは「学び塾」）子どもとスライムを一緒に作ったり、紙芝居をしたりもしている。温かな食事を味わい、また来たいと思ってもらえたらうれしいと話した。（山崎優日）

食材や衣類を提供し感謝状を受け取る玄向寺の菟須さん ⇒



2022年12月10日(土) 市民タイムス

日用品ホットラインに

第一生命松本支社が寄贈

松本市深志2の第一生命保険松本支社は8日、各地で子ども食堂を運営しているNPO法人・NPOホットライン信州（同市寿北5）に、日用品4万7800円分を贈った。小侯哲也支社長と社員が、同市本庄1の活動場所「信州子ども食堂まつもと」を訪れ、ホットライン信州の青木正照専務理事やスタッフ

小侯支社長は「社員みんなが子ども食堂のためにという思い。よ

松本支社は社員の健康増進活動で、寄付事業を兼ねたウォーキングイベントを行っている。1000歩につき3円を積み立て、集まった4万7800円で洗剤やハンドソープなどを購入して贈った。

まつもとに目録を渡した。松本支社は社員の健康増進活動で、寄付事業を兼ねたウォーキングイベントを行っている。1000歩につき3円を積み立て、集まった4万7800円で洗剤やハンドソープなどを購入して贈った。



小学生スタッフに目録を手渡す小侯支社長（左から4人目）

りたくん歩こうという意識が高まる」と振り返る。感謝状を渡した小学生スタッフの塚田百香さんは「贈られた物をもらった皆さんは生活が助かって喜ぶが増える」と話している。（石川鮎美）



→ 次回開催は、一月十二日(木)です。メニューは、餃子の王将弁当・いなり寿司・おやき・お菓子など盛り沢山です。お気軽にお越しください。

信州子ども食堂 in まつもと

持ち帰り餃子の王将弁当・稲荷ずし・おやき・菓子など
NPO ホットライン信州（信州子ども食堂 in まつもと・どん八）では、コロナ禍の影響と物価高騰で苦慮している子どもと家族に、3密を回避してお持ち帰り「王将のお子様弁当・稲荷寿司・おやき・お菓子・チョコのつかみ取り」とカレーメン・サクサクコーンなど配布・」生理用品・食材などを配布します！

新型コロナウイルスに負けない！

日時：2023年1月12日(木) 17時00分～18時30分

場所：松本本庄1-1-4 寒村ビル & 松本駅前記念公園

子ども無料・おとな300円程度のカンパ
餃子の王将弁当・稲荷寿司・お菓子チョコのつかみ取り・カレーメン・サクサクコーン・おやき・生理用品・食材などの食材等々です。

海鮮どん八の稲荷ずし アロコ様のお菓子
チョコのつかみ取りとカレーメン・サクサクコーンなど配布
王将のお子様弁当 持ち帰り100食です
重要！申し込み QRコードお問い合わせ

コロナ禍の活動!

年末年始を明る い笑顔で迎えて

松本市 年越し信州子ども食堂 in 島内



12月30日(金)、松本市島内公民館で、「年越し信州子ども食堂 in 島内」を開催し、子ども110名を含む約220名が参加しました。

「まん延するコロナ禍と物価高騰で苦労している子どもと家族が年末年始を明るく笑顔で迎えて欲しい!!」と、本格手打ち年越しそばを提供したのをはじめ、ゆで餃子・豚汁・お米・ドーナツ・おやき・野菜・生活用品・生理用品・衣類など生活支援物資の配布をおこないました。



子どもたちがお菓子のつかみ取りを楽しみました。報道各社も駆け付け、当日のテレビや翌日の新聞で紹介されました。

子どもと女性の相談に乗るスタッフ



水餃子の麺屋黄昏様へ感謝状授与

柳沢林業様からニンジン



水餃子を美味しく食べる子どもたち

手打ちそばの東方町会様へ謝状授



株ベネフレックス様から飲料水



エクセラ高校の皆さん

食材柳沢林業さんからニンジン 500 本、株ベネフレックス様から飲料水 500 本、東方そばの会同志会様の年越しそばと麺屋黄昏様からの水餃子の各 120 食がたそがれ振る舞いました。

市民タイムス

2022年12月30日(土)

平和、暮らし 揺れた一年

NBS 出来立ての豚汁やゆで餃子を味わう子どもたち。

長野県内で子ども食堂を運営するホットライン信州が開いた。島内公民館ではコロナ禍や物価高で苦しむ人たちにと年越しそばや米、野菜、おやきなどが無料で配られた。ホットライン信州青木専務理事は「物価高騰のあおりを受けて厳しいという声が寄せられている。

新年は気持ちよく笑顔で元気で迎えてもらいたい」と話した。



年越し子ども食堂で、紙芝居を見ながら食事をする来場者

令和4年も残すところあと1日となった。新型コロナウイルスの感染が収まらず、物価の高騰に耐え、ロシアのウクライナ侵攻に心を痛めた一年だった。中信地区では30日、笑顔で新年を迎えられるようにと、各種団体が善意の活動に取り組んだ。(石川鮎美、田中祥子)

「来年こそ平穩に」願い切実

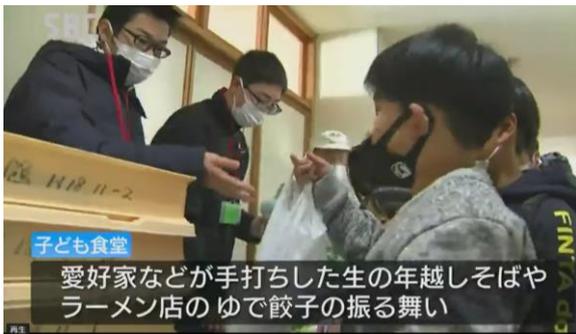
年越し子ども食堂に180人

松本市の島内公民館では、NPO法人ホットライン信州(松本市寿北5)が「年越しそばも食堂」を開き、約180人が訪れた。持ち帰り用の手打ちそばや日用品、温かい料理が提供された。子供2人と一緒に来た母親(45)は「いろいろなただけで助かる。大勢の人と食事ができて楽しい」と喜んでいた。青木正照専務理事(73)は「生活が苦しい人たちは、コロナ禍で疲れ切っているところに物価高騰で三重苦になっている」と現状を話し、「人とのつながりを大事にして、難局を乗り越え、笑顔で健康で年を越してもらいたい」と来年こそは平穩な年になることを願っていた。



子ども食堂

物価高騰などで苦しむ家庭や子どものため NPOホットライン信州が企画



子ども食堂

愛好家などが手打ちした生の年越しそばやラーメン店のゆで餃子の振る舞い

廊下に並ぶ 長蛇の列



CTSB

島内公民館 松本市



CTSB

島内公民館 松本市



ホットライン信州 電話で無料相談

0120-914-994

中日新聞 2022年12月30日

松本で子ども食堂 生そばや衣類配布

ホットライン信州

新型コロナウイルス禍などで困窮する子どもや家庭を支援しようと、県内で子ども食堂を運営する松本市のNPO法人「ホットライ



配布する食料や生活用品が集まった会場 松本市の島内公民館で

SBC 年の瀬に合わせ、松本市で子ども食堂が開かれ、手打ちの年越しそばなどが提供されました。NPO ホットライン信州が、物価の高騰などで苦しむ家庭や子どもに年末年始を笑顔で迎えてもらおうと企画しました。きょうは市内のそばの愛好家などが手打ちした生の年越しそば

120食が配られたほか、ラーメン店の店主がゆで餃子を振る舞いました。訪れた子どもは「おそばを食べられないから嬉しい」と喜んでいました。



ホットライン信州によると、コロナ禍と物価高で、困窮世帯の生活は厳しさを増している。青木正照専務理事(73)は「心のこもった支援物資が集まった。力を合わせて厳しい状況を乗り越りたい」と力を込めた。

「信州」は三十日、市内の島内公民館で、「年越し信州子ども食堂」を開いた。ボランティア四十人が参加。企業や農家、個人から寄付された米や野菜、菓子、衣類など一万点を来場者に配布した。地元のそば愛好家で作る「島内東方そば会同志会」が打った生そば百二十食も配られた。バルーンアートや紙芝居などもあり、子どもたちを楽しませた。

コロナ禍の活動! ←

バロー南松本店 で2回目の開催

松本市 信州子ども食堂 in バロー南松本店



1月14日(土)、松本市のバロー南松本店で開いた「信州子ども食堂 in バロー南松本店」。昨年12月の1回目到现在、2回目の開催となりました😊。



雨が降りそうな天候の中、子ども76名含め122名の親子連れの方々が参加されました😊。

焼きたてフランクフルトやバローさんのパン、お赤飯、長野牛乳、綿あめ😊、岡田さんのミニ四駆のおもちゃや生理用品の無料配布のほか、エクセラン高校のボランティアの生徒さんらによる毛糸のボンボン作り講座で親も子も同時に楽しみ、幸せな笑顔。子どもが楽しんでいる時間に、安心して買い物される方もおり、感謝のお言葉もありました。



大盛況



バロー南松本店様、各子ども食堂のスタッフの皆様、ビデオ編集の藤原様、ボランティアの皆様、皆様の心がつながり、子ども達の笑顔になりました。ありがとうございました😊

こども食堂に120人

松本 高校生が手芸講座も

子供たちに毛糸のボンボン作りを教える
エクセラン高校の生徒たち



松本市のNPO法人
・ホットライン信州は
14日、同市村井町北2
のスーパーマーケット
・バロー南松本店で、食
事の提供と食料配布を
行う「信州こども食
堂」を開いた。
申し込みのあった約
120人が来場し、牛
乳や生理用品、バロー
が提供したパンやレト
ルト米飯を受け取っ
た。その場でフランク
フルトや綿あめの振る



舞いもあつた。エクセ
ラン高校(松本市)の
福祉課・ボランティア
部の生徒4人による毛
糸のボンボン作り講座
もあり、子供たちが楽
しんでいる間に保護者
らはゆつくりと買い物
をしていた。
同店では昨年12月以
来2回目で、三宅高裕
店長は「地域の方のお
役に立てるのならうれ
しい。食品への味やこ
だわりを知ってもらう
機会にもなる」と話し
ていた。
(田中祥子)

ホットライン信州×バロー南松本店 店内開催「子ども食堂」



スーパー内の一角を利用した子ども食堂では、焼きたてパンなどの食品配布や、親の買い物中に子どもが滞在できるワークショップも行われた

県内初の試み 月1回の定期開催予定 にぎわい創出の場に

コロナ禍や急激な物価高騰の中、困窮者
の支えとなる子ども食堂。松本市では
県内初で全国でも珍しいという、スーパー
マーケット内の開催が関心を集めている。
食品販売の現場で配布もするという、
相反しても見える試み。その狙いとは。
(佐竹伸子)

14日、バロー南松本
店(村井町北)で開い
た、2回目となる「信
州こども食堂」。店舗
内の空きテナント部分
(約50平方メートル)と通路
を利用。大人300円
の参加費で、食品配布
240店舗を展開する

あめなどの振る舞い、
高校生ボランティアに
よる子ども向けワーク
ショップも利用できる
とあって、親子連れな
ど約100人のにぎわ
った。
東海地方を中心に約
240店舗を展開する
バロー(本社・岐阜県)
と、松本のNPO法人
「ホットライン信州」
の共催。同社が愛知県
などで行ってきた、賞
味期限が近い食品の寄
付を通じて、両者の縁
ができた。店側はスベ
ースのほか、赤飯と焼

きたてパン各120個
を提供。同団体がスタ
ッフや寄付食材を出
し、運営した。
バローグループでは
「サステナビリティ推
進室」を中心に環境保
護やフードロス削減な
どに力を入れ、昨年か
ら家庭の剰余食品を循
環させる「フードドラ
イフポスト」の常設設
置も順次行ってきた。
今回の試みは、社会
貢献はもちろん、他店
との差別化になり、に
ぎわい創出や、次世代
の子どもたちに店を知
ってもらうきっかけ
に(バローホールデ
ィングス管理本部・秋
元武室長との期待も。
誰もが集まりやすい店
という場合は、運営団体
や利用する市民にもメ
リットとなり、3者の
利益が合致した。
月1回の定期開催を
予定。常設のキッズス
ペースにして、買い物
中の預かりやイベント
開催の場に1との構想
もある。今後の開催予
定はフェイスブック
(「ホットライン信州」
で検索)、☎0120
・014・0904

MG
プレス
Tue. 信州の真ん中から発信
松本市・塩尻市・安曇野市・大町市・東筑摩郡・北安曇郡・木曽郡
発行|信濃毎日新聞社

2023 1.24 [火]
火曜～土曜発行
https://mgpress.jp | official.mgpress | #MGpress2018
02 暮らし 安曇野に気兼ねな仕事場
03 地域 「香香」学び香り選んで
04-05 シニア 手作り発声「お達者通信」

こども食堂を学び小学校で発表

松本市 清水小学校 6年3組こども食堂



1月16日(月)、松本市で「清水小学校6年3組こども食堂」が開催されました。主催したのは、防災や食品ロス、環境問題、こども食堂などをSDGsの学習で学んだ6年3組の児童。3・4時間目の授業で、6年1組と2組の児童が各ブースを回って発表を聞いていました。それぞれがスライドや模造紙にまとめたり、クイズをしたり、工夫した発表をしていて、私たちも勉強させていただきました。



「こども食堂」について発表した児童たちは、昨年の夏から「寄り添いこども食堂」に毎回、学校帰りに参加して、会場作りや飾り付け、受付、配布など手伝いをしたり、生活体験に参加したりしてくれました。そのことから「こども食堂」をみんなに知ってもらいたいという思いで、今回の開催になりました。

こどもたちは「こども食堂を手伝って、お客さんを接客したりして、こども食堂のことが知ることができた。それをふまえて6年3組で開催できた」、「こども食堂を6年生のみんなに知ってもらえて良かった」、「みんなの笑顔が見られて良かった」、「まだ6年生にしか広まっていないので、地域の人や他学年にも伝えたい」という感想をもらいました。6年生から少しずつ、支援を必要としているこども、家庭に思いが届くと良いなあ😊と思います。



最後に、NPO ホットライン信州が提供したお菓子やドライフ



ルーツ、アルファ化米、タオルを受け取り、「ありがとうございます」「うれしい」「やったー」と元気に挨拶して教室へ戻って行きました。



コロナ禍の活動!

子育て世帯に 多彩な催し提供

生坂村 居場所み~つけた!



1月22日(日)、生坂村の海洋センターで開かれた、子育て世帯を対象にした第3回「居場所み~つけた!」。子ども約60名含む100名(デリバリー含む)が参加しました😊。



お菓子のつかみ取り



支援物資の配布



開催前に行われた手作り感のあるセシモニー。子どもたちが参加したくすだま割りや子どもたちの手形を線路でひとつにつないだ旗がお披露目されました😊

長らくコロナ禍に物価高騰の中。「子どもたちに笑顔を!!」と、NPO ホットライン信州や玄向寺さん、生坂村教育委員会、地元青年団、関係者らが協力して、温かなおやきや具だくさんの汁物、防災ご飯、ドーナツ、お菓子、生活用品などを提供。

バルーンアートやミニゴルフ、相談コーナーなど多彩な催しもあって、会場はにぎわいました。



防災体験でごはん



絵本の配布



バルーンアート



衣類のリユース



寺子屋で勉強



相談に対応する社会福祉士さん



ミニゴルフを楽しむ子どもたち

温かな汁物は、リトル帰りのキッズの腹ペコのお腹も心も満たしてくれたと思います😊。地域のみなさんの温かい心と心がつながって、ひとつの大きな力になりました。当日の様子は、23日の市民タイムスと信濃毎日新聞に掲載されました😊。

こども & 女性応援で食材等配布

松本市 ゆいま〜るこどもひろば



松本市島立公民館で毎月開いた「ゆいま〜るこどもひろば」。

10月25日に引き続き、11月29日(火)に松本市島立公民館で開催しました。両月合わせて子ども110名を含む180名が参加しました😊。

宿題と遊び、NPO ホットライン信州による「こども&女性応援」として、サラダやカップ麺・ドーナツ・おやき・お菓子などの食材や生理用品を配布しました



12月13日(火)は、子ども40名を含む約70名が参加しました😊。

寒風の中、たき火による焼き芋づくり、「アルミホイルで直接芋を巻いたり、濡れ新聞紙や濡れキッチンペーパーで巻いたりして、さらにアルミホイルで巻く」というやり方で、ねっとりとした食感の焼き芋を美味しく食べました😊。



正月のミニ松飾づくり、宿題やトランプ遊び。帰りには、こども&女性応援として、お菓子やカップ麺・ドーナツ・バナナ・りんご・レタスなどの食材や生理用品などを配布しました😊。



1月25日(水)は、子ども42名を含む約76名が参加😊。学校帰りの子どもたちは宿題をすませ、カードゲームや手形アート、つみき遊びなど思い思いに楽しみました。

帰りには、お菓子やチョコレート、野菜などの食材や生理用品などを配布しました。



コロナ禍の活動!

開始前から行列 高校生が大活躍

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



2月25日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、開始前から長い列! 子ども68名を含む118名が参加😊。エクセラン高校生のポップコーンや美酢などを飲みながら海鮮丼を美味しく食べました😋。



公園では、サンエイさんのお菓子、都市大塩尻高校生が集めた本やぬいぐるみなどの配布(市民タイムスに掲載)、紙芝居などを楽しみました!😊

令和5年(2023年)2月26日 日曜日 市民タイムス

都市大塩尻高生 子ども食堂協力 松本で子供用品配布

塩尻市の東京都市大塩尻高校探究コースの1年生が25日、NPO法人ホットライン信州の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」に協力し、松本市本庄1の松本駅前記念公園で子供用品を無料配布した。

活動したのは地域課題を考える授業で、も食堂について取り組む倉根菜々子さん(16)、中野夢織さん(16)、小澤優月さん(16)。文化祭で生徒や家庭に呼び掛け、使わなくなった子供服やぬいぐるみ、玩具、児童書などを募った。この日は長引く新型コロナウイルス禍や物価高騰を念頭に主催者

児童書を募った。リユース品を配る。小澤さんは「貧困の子供だけでなく誰もが集える交流拠点として発展してほしい」と願った。(有賀文香)



信州子ども食堂で無料配布する子供用品を準備する高校生ら

エクセラン高校生の美味しいポップコーン

帰りのお土産は、サンエイさんからのお菓子、お米、ベネフレックス様から飲料水、玄向寺様ドーナツ・長野牛乳や野菜、たまごパン・チョコレート・生理用品など。



都市大塩尻高生の物資配布

みんな大喜び😊でした。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました🙏。

元気をもらえる 子どもたちの声

長野市 寺子屋カフェ



1月21日(土)、寺子屋カフェと食材配布を行いました。カフェの参加者は、子ども12人と大人3人の計15人。食材配布は、子ども20人と大人18人の計38人でした。

メニューは、いなり寿司、おにぎり、豚汁、マカロニサラダ、肉じゃが、大根サラダ、一口ケーキ、フルーツポンチ、麦茶。



久しぶりに子ども達の歓声が響き、元気をもらいました。「一口ケーキお土産にほしい」と女の子が2人持っていきました。「またやってね」と言われ、うれしかったです。



2月18日(土)の寺子屋カフェ参加者は、子ども人と大人8名。食材配布は子ども21人と大人32人。あわせて88人でした。



メニューは、スパゲティ(ミートソース)、信州サーモンのフライ、サラダ、鯛のしんじょの吸い物、3つのイチゴのケーキ、フルーツポンチ、麦茶でした。

外部から講師を招いて、マジックショーを行いました。好評で子ども達は「楽しかった」と帰っていきました。たくさんの子どもの笑い声が響き、活気にあふれ、私達も元気をもらいました。

コロナ禍の活動!

食事会の再開を 願い弁当配布

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ



小諸市相生町の相生会館で開く「信州子ども食堂 in こもろ」。78回目になった2月25日(土)のメニューは、「キーマカレー」、「ジャガイのなま酢」、「キンピラごぼう」、「果物」です。子ども32人とおとな59名の計81人が参加しました。



感想は「キーマカレーは美味しくて、家族全員あつという間に食べてしまいました」、「私はご飯を追加して食べてしまうほどでした」、「ジャガイのなま酢は小さい子どもは苦手でしたが、大人は美味しかったです」「お菓子も全員で頂き、皆で楽しむことが出来ました」、との多くの喜びの声を聞くことができました。



77回目は1月28日(土)。メニューは、おでん・混ぜおこわ・りんごのコンポート・野沢菜おかか和え。参加は、子ども30人とおとな21名、スタッフ17人の計69人で、小諸商業高校ボランティア部の生徒さん達も来てくれました。



お米と野菜、果物を袋詰めにして16世帯に配布し、またおでんの容器持参の方にはお菓子をプレゼントしました。



参加者から「おこわと野沢菜の組み合わせ最高でした」、「自分でおこわをしないのでありがたいです」、「おでんの具が一人ずつあり、ケンカにならずありがたかったです」、「鍋で分けていただいたので、温めやすかったです」、「ゴミが減らせるので容器を持っていくのは良いですね」、「お土産たくさんありがとうございました」などの感想をいただきました。



共食で つながる 力！

参加者が急増し 目が回る忙しさ

長野市 信州ども食堂



3月18日(土)、長野市の「信州ども食堂」は、物価高騰の影響か?? 参加者が激増し、子ども113名と大人75名の188名。ボランティアさんとスタッフがフル回転で目が回りそうな忙しさでした。



本日の体験は、太巻き作り😊初めて作る方もいらして、私たちのレクチャーを真剣に聞きながら、そ〜っと、巻きすを開けると満面の笑みと拍手👏。楽しんでくれている姿に疲れも吹き飛ばし気持ちになりました。



恒例のサンエイさんプレゼンツのコーナーでは、お菓子釣りにキャンディーすくい、そしてビンゴゲーム大会が繰り広げられ、いたるところで大盛り上がりでした。



調理室では、お弁当の用意にボランティアさん方が大活躍。おいしいお弁当を作ってくださいました。その数、160個を超えました!!



様々な女性相談に対応中..



皆さん、本当にお疲れ様でした。ご参加くださった皆さんもありがとうございました。また来月、元気に会いましょう😊

子育て家庭を 支える宅配便

松本市 信州子ども食堂 きずな宅配便



3年目を迎えたコロナ禍の中で、子どもの世話や仕事などで「子ども食堂に来られない」といった子育て中の家庭を中心に、月数回宅配をしている「信州子ども食堂 きずな宅配便」。

毎月の利用者は、60世帯・250人を超えました。各家庭へ企業などから寄付された食品などを渡しなが、さまざまな相談にのっています。



配達先では「長引くコロナ禍で仕事量が減って所得も減少した。コロナの陽性になり仕事を休んだが、家計を圧迫し限界にきている」、「生活費がかかりすぎて毎日が不安。食材の支援がいちばんありがたいです」、「食料支援がないと生きていけない」など、切実な訴えがあとを絶ちません。さらに「物価が高くなり食費に回すお金がない」、「食費や光熱費、ガソリン代などの値上がりで本当に苦しくて生きていけない」など、物価高騰が追い打ちをかけているようです。



宅配のはじまりは2021年11月。子ども食堂へ来られなかった知人の代わりに食品を受け取り、知人宅へ届けたことがきっかけでした。掛け持ちの仕事で忙しかったり、子どもの世話で手を離せなかったり、さまざまな事情で子ども食堂に来られない家庭を助けています。

「信州子ども食堂」きずな宅配便

昨年の信濃毎日新聞に掲載されて以来、宅配利用者は倍増!



いつでもいいよ 子どもの居場所

松本市 信州みんなの食堂



3月22日(水)、松本市の新村地区で新たなこども食堂「信州みんなの食堂」が始まりました。

「子どもたちがいつ来ても、いつまでいてもいいよ!!」と呼びかけ、3月30日までの6日間で、子ども60名を含む125名が参加しました。

テレビ信州3月23日(木) 放映



料理は、プロが作る美味しい日替わり定食・トマトカレー・サラダ・ゼリーなど。



3月22日、地元の百瀬さんが腹話術人形劇や紙芝居を、わかりやすくおもしろく、楽しく話してくれました。

日時	子供	大人	計
3月22日	3	7	10
3月23日	7	10	17
3月27日	16	11	27
3月28日	16	10	26
3月29日	8	16	24
3月30日	10	11	21
合計	60	65	125

2023年3月23日(水) 市民タイムス

いつ来ても
いつまで居ても
いいよ

新村に「みんなの食堂」

松本市新市の旧飲食店店舗で22日、子供たちに食事や居場所を提供する「こども食堂」の活動が始まりました。地元在住で、子供を育てる下里さん(43)が代表を務め、地域の人の協力を得ながら運営しています。

地域の協力で子供支援

3月22日、27日、30日の午前10時～正午に開く。4月からは週1回。



今後は、学校や家庭と違う第三の居場所として、不登校の子どもと保護者を支援する活動もしていくようです。マスメディア数社の取材を受け、代表の下里さんは大忙しでした。4月以降も引き続き開催しております。



百瀬さんと人形劇の会話を面白く見守る子供たち

学生らが訪れ、ボードゲームで遊んだり、地域の百瀬さんによる人形を使ったお話を聞いたらしい。下里さんは「子供たちがいつ来てもいいよ」と呼びかけ、4月以降も引き続き開催しております。

長野県、各市町村、福祉団体、企業等と協働・連携して福祉活動推進しています。

長野県のみなさまへ **新型コロナウイルス感染症に関する生活支援窓口一覧** その他の相談窓口もこちらで紹介しています **長野県 コロナ 生活支援**

感染症 発熱、倦怠感などの症状がある **24h**

①まずは、電話でかかりつけ医など身近な医療機関に相談を
②かかりつけ医等を持たない方や、土日祝日や夜間など、相談先に迷った場合は、お近くの保健所の「受診・相談センター」に電話相談を

ワクチン接種についてのご相談
ワクチン接種相談センター 026-235-7380 **24h**

県保健福祉事務所(保健所) ※コールセンターにつながります
佐久 0267-63-3178 上田 0268-25-7178 諏訪 0266-57-2930 伊那 0265-76-6822
飯田 0265-53-0435 木曾 0264-25-2227 松本 0263-40-1939 大町 0261-23-6560
長野 026-225-9305 北信 0269-67-0249

長野市保健所 026-226-9957
松本市保健所 0263-47-5670
聴覚に障がいのある方用 FAX 026-403-0320

仕事 休業した、失業した、仕事を探している

ハローワーク 職業相談・紹介、失業給付、訓練の受講あっせん等
長野 026-228-1300 松本 0263-27-0111 上田 0268-23-8609
飯田 0265-24-8609 伊那 0265-73-8609 篠ノ井 026-293-8609
飯山 0269-62-8609 木曾福島 0264-22-2233 佐久 0267-62-8609
大町 0261-22-0340 須坂 026-248-8609 諏訪 0266-58-8609
小諸出張所 0267-23-8609 岡谷出張所 0266-23-8609 平日 8:30~17:15(一部、夜間と土曜の営業あり)

Jobサボ 就業支援のプロが、履歴書作成、面接練習など丁寧にサポート
事務局 050-2000-7228 平日 9:30~17:30

まいさば 仕事を含めた生活全般の困りごとに対応
▶連絡先は裏面へ

仕事に関して 悩みがある

長野労働局 労働相談(解雇や雇止め、労働条件など労働問題全般)
雇用環境・均等室 026-223-0551
職業安定部職業対策課 026-226-0866 平日 8:30~17:15

県労政事務所 労働相談(解雇や雇止め、労働条件など労働問題全般)
東信 0268-23-1629 南信 0265-76-6833
中信 0263-40-1936 北信 026-234-9532 平日 8:30~17:15

資金繰り、経営不安、雇用、融資の相談

県庁 お近くの地域振興局商工観光課でも相談できます
経営 026-235-7195(経営・創業支援課) 雇用 026-235-7201(労働雇用課) 融資 026-235-7200(経営・創業支援課) 平日 8:30~17:15

お金 生活が苦しい

市町村社会福祉協議会 【生活福祉資金貸付】緊急小口資金・総合支援資金等

福祉事務所 【生活保護】生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものです
▶連絡先は裏面へ

その他「食料や日用品がない」などの生活上の困りごと相談

住まい 家賃が払えない、住まいがなくなった

まいさば 【住居確保給付金】住居を失うおそれがある方に家賃相当分を支給
支給期間:3か月(原則最長9か月まで)
※一旦終了した方も、再支給できる場合があります

【入居保証】賃貸住宅へ入居される際に保証人の確保が困難な方に入居保証支援

▶連絡先は裏面へ

コロナ禍で不安 などを抱えている女性と子ども
●無料電話相談、面接相談
●関係機関の紹介、同行支援
●食材、生理用品等の提供
026-914-994 (委託者:NPO ホットライン信州)

こころ 眠れない、不安で落ち着かない

県精神保健福祉センター こころの相談 026-266-0280 8:30~17:15(土日・祝日除く)

長野県人権啓発センター 【人権相談専用電話】026-274-3232 火~日 8:30~17:00

県庁 【新型コロナ 誹謗中傷等被害相談窓口】026-235-7100 平日 8:30~17:15

外国人の方 生活で困ったとき Foreign Language

新型コロナ多言語コールセンター 0120-974-998 **24h**

長野県多文化共生相談センター 026-219-3068 / 080-4454-1899 第1・3水曜日を除く平日、第1・3土曜日10:00~18:00

どこに相談したらよいかわからない、どんな支援があるかわからないときは ▶ **お困りごと相談センター 026-235-7077** 8:30~17:15(土日・祝日・年末年始を除く)

やさしく女と男情報誌 Vol.69 2022.11.1

共に

塩尻市生涯学習部 社会教育スポーツ課 共生推進係
塩尻市大門七番町3番3号
TEL: (0263) 52-0280 内線3135
FAX: (0263) 54-2705
E-mail: shakai@city.shiojiri.lg.jp

特集 誰一人取り残さない社会のために
~長期化するコロナ禍で安心して共生する社会を~

令和4年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ
【あなたらしい】を築く、「あなたらしい」社会へ
男女共同参画週間(毎年6月23日~29日)に合わせて決定されています

新型コロナウイルスの感染拡大は収束する兆しが見えぬまま3年目となり、世界経済に重い影を投じた。世界経済フォーラム(WEF)は男性より女性に大きな打撃を与え、ジェンダー格差を拡大したと指摘しています。特に景気回復の遅れている日本では女性の雇用を悪化させた。感染症対策として人や物の移動を制限した結果、女性の就職率の高い飲食業や生活関連サービス業は大きな打撃を受けました。中でも非正規雇用者が大きく影響を受けており、結婚・出産による産後休業などのため非正規雇用中に占める女性の割合が多いため多数が雇用を失う結果となっています。その中にはひとり親世帯も少なくないようです。男女格差は確実に広がっています。

男女別賃金格差
＜前年対比増減(雇用形態別・年齢階級別)＞
(千円)

産別別就業率の推移 前々年同月別の推移
(%)

コロナ禍での失業や収入減などで、支援を必要とする女性や子どもが増えている現状は塩尻市も例外ではありません。そんな不安や困難を抱える女性や子どもたちに寄り添い、支援し応援をしている団体の創設者お二人にお話を伺いました。

市民目線で私たちができることはなんだろうか? コロナ禍を乗り切り、自立し、未来に向かって女性も子どもたちも一人一人が輝くにはどのように行動すべきなのでしょう。一歩踏み出すための一歩を踏み出しました。

編集委員 吉江 令子

内閣府 男女共同参画局

誰一人取り残さない社会のために
~長期化するコロナ禍で安心して共生する社会を~

NPO 法人ホットライン信州
専務理事 青木 正照 さんに伺いました。

主にどんな活動をされていますか
24時間365日、電話での無料相談、同行・生活支援を行い、企業や個人からの食料品や生活必需品の寄贈品などで生活困窮者支援を実施しています。子ども食堂の運営に携わり、20歳すぎた方が、中学生の頃からのひきこもりを改善した例もあります。

どんな願いをもって活動されていますか
相手の気持ちがあり、立場にたった思いやりが必要だと思います。考え方が多様化している中で、こうでなければと先入観を取り払うことが大事です。子ども食堂は、協力者みんなで寄付されたものからメニューを決めています。離婚・DV・親権問題、経済的困窮等、女性と子どもは弱い立場にありますが、一緒に活動することで互いに認め合いながら、知恵を出し合い協力関係を築いています。特に、幼少期に経済的ダメージや精神的ストレスが大きいと、つまりやすく、社会での適応が難しくなることを感じています。子ども食堂は生活困窮者だけでなく、地域のあらゆる人たちが気軽に集まる場を目指しています。

活動から感じていることを教えてください
最初の頃子ども食堂は、貧困のイメージがとても強く、行きたくも行けない人もいました。地域で自分の子どもだと思ってくれてくれる必要はないでしょうか。ひとり親家庭はわが子に責任を持つことは大切ですが、みんなに協力してもらおうと気が楽になるでしょう。困ったときは迷わず声をあげることができればと思います。

互いに認め合う みんなで協力 地域で育てる

格差増大が顕在化しているコロナ禍、どんな支援が必要だと感じていますか
コロナ禍で、コミュニケーションが取りにくく、つながりが希薄になっています。そのような中で、物価高騰により、生活必需品や食料の援助を求め声も多いです。SDGsの取り組みと合わせて、環境に良い食料運用をしています。企業で商品の入れ替えなどで不要になったもの、*フードドライブや農家などで余った食料品を有効利用しています。物資をドライブスルー方式で配布することもあります。
*フードドライブ: 各家庭で余った食料を集めて職場などに持ち寄り、それを取りまとめて専門の団体や地域の福祉施設に寄付する活動

誰もが安心して暮らせる社会を目指し、私たちにどんなことができるでしょう
みんなが安心して暮らせる地域共生社会づくりのために、生活困窮者支援の取り組みがより求められています。物資などは内容により直接届けるなど、できることをできる範囲で、無理のないように参加していくという姿勢です。不要品であっても、フードドライブボックスを設置すればそちらに入れてもらえる、そんな取組が広がるのではないかと思います。支援活動が発展していくように必要な情報提供ができるといいと思います。みんなが、お互いをサポートできる社会でありたいです。

(編集委員 小松 洋子)

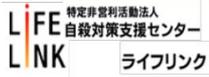
こどく こりつ そうだん

孤独・孤立相談ダイヤル (試行) #9999

第1期 7月7日(木)10時～7月14日(木)10時

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

担当幹事団体



相談窓口協力団体



7月6日 水曜日

信濃毎日新聞

じょうほう交差点

「#9999」試行
あすから

政府は5日、孤独や孤立に悩む人からの相談を24時間受け付ける無料の電話相談を7日午前10時から1週間、試行的に実施すると発表した。番号は全国共通で「#9999」。14日午前10時まで、生活困窮や家庭内暴力などを含め幅広い相談に応じる。

新型コロナウイルス禍と物価高騰に対応する緊急対策の一環。民間の11団体と協力して実施する。電話をかける自動音声で「死にたいほどつらい方は3番」「孤独・孤立でお悩みの方は9番」などの案内があり、相談したい内容を選ぶと支援団体につながる。外国語の相談にも対応する。

本年度中に計3回試行し、本格的な運用が可能か検討する。

孤独無料相談電話

「#9999」試行
あすから

相談日	
第1期	7/7 ~13
第2期	8/30 ~9/5
第3期	11/11 ~11/18
いのち電話	12/1~2
第4期	12/28 ~1/4



自民党「孤独・孤立対策特命委員会」へ NPO ホットライン信州らが視聴出席

自民党の「孤独・孤立対策特命委員会」が8月4日(木)8:00より開催とのことで、自民党政務調査会より、NPO 等の方々にもモニター視聴を可能としたいとの連絡を受け参加。NPOをはじめとするプラットフォームの会員（府省を除く、NPO や社協）などの孤独・孤立対策の取り組み 現状と課題に報告がなされた。



委員会は、坂本哲志委員長からのご挨拶に続いて、内閣官房より「孤独・孤立対策の取組状況等」について説明を受け、重要な課題などなど予定の1時間を超えての質疑が行われた。

議員からは、実態調査を今後も、更に進めて、相談や支援が必要な方の人数と、現状、支援を受けている人の数を推計し、NPO支援などの予算の拡充につなげていくべき等の意見が出され、当NPOなどの現場の活動を通じて、更なる政策提言につなげていく必要性が感じられた。

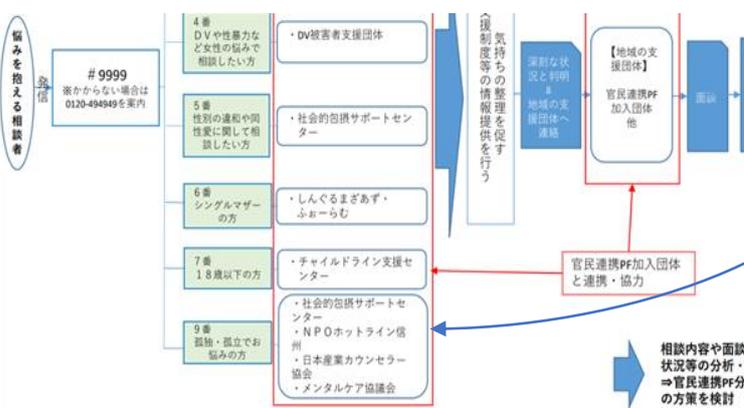
※ 孤独・孤立相談ダイヤルについては、7月7~14日までの1週間、24時間体制で官民協働の取り組みとして、「#9999」の番号で相談対応を実施。全国11団体の協力のもと、孤独・

孤立でどんな悩みでも受け付けた。1週間の総呼数は14,678件にのぼり、そのうち、相談対応に応じることができたのは、3,823件であり、応答率は26%となった。

回線数以上の相談が寄せられると応答が困難になるためすべての相談に応答することはできないものの、フリーダイヤルの他相談等と比べると高い応答率となった等・・・報告。



NPO ホットライン信州



○ 現在の孤独感に至る前に経験した出来事

■ 孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事としては、「一人暮らし」、「転校・転職・退職・退職（失業を除く）」、「家族との死別」、「心身の重大なトラブル（病気・怪我等）」、「人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）」を選択した人の割合が高かった



○右側のグラフは孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事を集計したものである

○左側のグラフは孤独感が「ほとんどない」、「決してない」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事を集計したものである

※経験した出来事を全て選択する複数回答方式による

新型コロナウイルス感染拡大の影響

○ コロナ禍におけるコミュニケーションの変化

■本調査では、新型コロナウイルス感染拡大により、人とのコミュニケーションにどのような変化があったか、また、日常生活にどのような変化があったかを把握

■人と直接会ってコミュニケーションをとることが減ったと回答した人の割合は、67.6%であった

【図25】コロナ禍におけるコミュニケーションの変化



孤独・孤立の問題の現状

○ 長引くコロナ禍の影響により、孤独・孤立がより一層深刻な社会問題となっている。自殺者数の増加などは、孤独・孤立の問題も要因の一つと考えられる。

・自殺者数(令和2年)：【総数】 21,081人(前年比912人増)
【女性】 7,026人(前年比935人増)
【児童生徒】 499人(前年比100人増で過去最多)

※ 令和3年(確定値)の自殺者数は21,007人(前年比74人(約0.4%)減)
男性は13,939人(12年連続の減少)、女性は7,068人(2年連続の増加)

・DV相談件数(令和2年度)：18万2,188件(前年度約1.5倍)

・児童虐待相談対応件数(令和2年度)：20万5,044件(前年比1万1,264件増)

○ 令和3年2月より、孤独・孤立対策担当大臣が司令塔となり、内閣官房孤独・孤立対策担当室を立ち上げ、政府一体となって孤独・孤立対策に取り組んでいる。

社会的養護出身の若者サポートプロジェクト

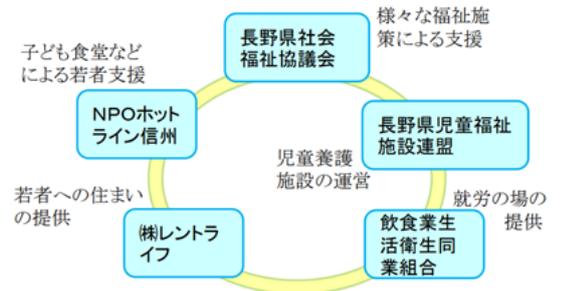
コンソーシアム名:社会的養護出身の若者自立支援プロジェクト

(幹事団体:社会福祉法人長野県社会福祉協議会)

事業概要

- [対象地域] 長野県内全域
- [事業の概要] 児童養護施設や里親などの「社会的養護」を一定の年齢で離れた若者等に対し、なんでも相談、居住支援、就労支援等を実施
- 若者自立なんでも相談「ホップ」
住まいや仕事、お金などの「なんでも相談」を開設し、他の支援機関と協働して支援
 - 居住支援「住まいる」
相談者の住まい確保の支援、社協や施設による入居時の保証サービスの拡充を図る。
 - 就労支援「ジャンプ」
居住支援付き雇用や資格取得支援など企業の支援メニュー促進、「若者自立支援プロジェクト基金(仮称)」の設立
 - どこでも実家77
児童養護施設と市町村社協等の連携を図り、「実家」のような機能を全市町村で実現

コンソーシアム



現状と課題

社会的養護出身者は「自立を阻む課題」が集中する中で生きることを強いられる。(大人への不信、住まい・仕事・身寄り・お金・孤立などの困難、制度の縦割りの弊害など)



目指す社会変革

- ・入居保証人の慣習を長野から変える。
- ・若者の自立支援を旗印に制度の縦割りを超え、相乗効果を生む。
- ・子ども支援、若者支援に関し地域の見守り力を高める。

<コレクティブインパクト>

困難を有する若者の支援について豊富な実績・体制を有する機関・団体と、住居及び仕事という支援の重要課題に応える団体が協働して、独自の取組を進める。

施設や里親などの元から自立していく若者たちは、県内で毎年100名前後であります。しかし虐待などの心の傷を抱え、様々な生きづらさを感じながら社会に出る若者たちは、若者自立支援の包括的ネットワークづくりに取り組む必要があります。

長野県社会福祉協議会とNPOホットライン信州と協働しながら、子ども食堂を小学校区に1つを目標(県内約400か所、現行は約150か所)に立ち上げを支援し、地域全体の子どもの見守り力の向上や子ども・若者の孤立・孤独防止につなげています。



2022.9.5 NHKニュース

2022 こども若者サポートプロジェクト会議



全体写真(中南信53団体の参加)

若者サポートプロジェクト進捗状況について、各会場で説明する NPOホットライン信州 傳田清事務局長

社会的養護出身の若者サポートプロジェクト



全体写真(東北信50団体の参加)

たべものをすてるのは もったいない！

フードドライブ
のしくみ



いただきます

長野県庁や
市役所、また、
ライオンズ
クラブなど
多くの皆さん
より集めます



うち お家やお店、
みせ 会社やなどから
かいしゃ



ありがとう

ご家庭や子ども
食堂などへ

さしあげます



とてもおいしい
ありがとう

明日を開く 3つの意義



SDGsの“環境の上に社会・経済が成り立つ”

いまこそ①環境保護、②社会的包摂、③経済
開発（SDGsの持続可能な3要素）の考えの
もと、弱い立場にいる人のことを同じ立場で理
解して、環境や人権を理解し、こども食堂を通
じて持続可能な地域を社会をつくる時



特定非営利活動法人 NPOホットライン信州「信州こども食堂ネット
ワーク」は国連がめざすSDGs（持続可能な開発目標）を支援しています



コロナ禍における、フードドライブ ・フードバンクにフードパントリー

フードパントリー
ってなあに？

食材を配布する場所(NPO ホットライン
信州・信州子ども食堂)などです。



フードドライブ
ってなあに？

集まった食品
を、食事に困って
いる人や子ども
食堂に届けます。



フードバンク
ってなあに？

おうちで眠って
いる食品を持ち
より集め福祉団
体に寄付します。

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレー！ フードドライブ信州子ども食堂応援リレー

フードドライブ&パントリー

日時 2023年4月1日(土)11時
場所 長野県松本合同庁舎

日時 2023年4月29日(土)11時
場所 長野市役所第一庁舎1階

ご寄贈していただきたい品物

【食品】菓子、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、カップ麺など

【お問い合わせ先】フードドライブや子ども食堂のこと、支援のご希望やご相談などもおよせください

主催 :特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 (信州子ども食堂ネットワーク事務局)
〒399-0011 松本市寿北 5-4-28-1  0120-914-994



心と心がつながる「ご縁」のリレー

フードドライブに参加してみませんか

家庭で消費されない食品を寄付していただき、
食べ物を必要とする人や子ども食堂、福祉施設などに届けます。



信州子ども食堂は、食を通じて
誰でも参加できる居場所です。
現在県内に約150カ所あります。

フードドライブは、食品ロス解消への取り組みです。

● こんな食品がありませんか？ ●

- ・お中元やお歳暮でもらったが、家では食べないもの
- ・安売りやまとめ買いで、買い過ぎてしまったもの
- ・災害用として備蓄しているが、賞味期限が迫っているもの

※寄付できるものは、未開封で、賞味期限が1カ月以上あり、
常温保存ができるものに限りです。



ホットライン信州の取り組み

長野市を含め、県内でフードドライブに取り組み団体「NPO法人NPOホットライン信州」の青木正照さんにお話を伺いました。

ホ

ットライン信州と長野市の「ご縁」は、平成28年に、第1回の信州こども食堂を長野市で開催したのが始まりです。以来、フードドライブ事業には県内の自治体などと協力しながら取り組んでいます。物価急騰の折、支援を必要とする人の支えになればというこ



食品の仕分け作業

「もったいない」を「ありがとう」へ

とで、市民の皆さん、企業の皆さんに協力していただき、物資を集めています。

私たちはご家庭に眠っている物資などを提供してもらい、それらが必要とする人に届けることを「心と心がつながる『ご縁』のりレー」と呼んでいます。物資を提供する側にも受け取る側にもこうした場をもつと活用していただき、地域に「ご縁」の輪を広げていきたいと考え、活動しています。

最近では、学校などでもSDGsや子ども食堂をテーマにした取り組みを進めるところが増えてきました。私たちも、子どもたちが力を発揮できる場所づくりをしていきたいです。



NPO法人NPOホットライン信州
青木正照 専務理事

直近のフードドライブ

- ▶とき／4月29日(土)11:00～13:00
 - ▶ところ／市役所受付西側(第一庁舎1階)
- ※寄付希望品の条件など、詳しくはNPO法人NPOホットライン信州(☎0120-914-994、✉yff52160@nifty.com)へお問い合わせください。

持ち込めるもの

- ▶寄付希望品／菓子、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、カップ麺など
- ※生鮮食料品は事前にご相談ください。
※食品の他、子ども用品(新品か汚損のない洗濯済みの衣類、学用品、おもちゃなど)の寄付にもご協力ください。

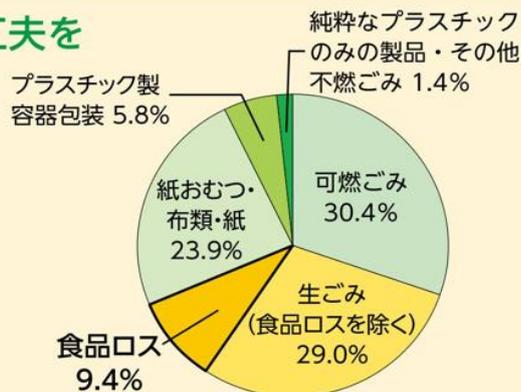
食品以外も
寄付できます



長野市環境学習
キャラクター
「えこねこ」

食品ロスを出さない工夫を

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。
全国で1年間に発生する食品ロス量は、約522万トン(令和2年度推計)で、これは毎日1人当たりご飯茶わん約1杯分に近い量(約113g)を捨てていることになりました。
ライフスタイルを見つめ直して、食品ロスを出さない生活を心掛けましょう。
市では、食品ロスを削減する取り組みの一つとして、フードドライブをNPO法人と協力して行っています。



長野市における家庭可燃ごみ
組成調査結果(令和4年度)

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレ

コロナに勝つ!おもいやりの心

信州こども食堂応援リレーの紹介

「信州こども食堂」は、全国フードバンク推進協議会・全国食支援活動協力会を始め、協力団体・企業・お寺・個人など、多くの皆さまのご支援を賜っております。

お寄せいただいた寄贈品は、各地の「こども食堂」と必要とされている方への支援に生かしています。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。「信州こども食堂ネットワーク便り」

「SNS」等で掲載した一部を紹介させていただきます。(順不同・敬称略)



コロナ禍は、思いやりと
支え合いで乗り切ろう!

いただいた食材をフル活用する信州こども食堂ネットワークの各食堂

「信州こども食堂ネットワーク」の各こども食堂では、県内外でご寄贈いただいた食材や食品を無駄なく活用しています。

また、余った食材などは、必要としている、子ども世帯の家庭に持ち帰っていただき、家族での食事などで活用して頂いております。

2022年4月～2023年2月までの当法人の取り扱い量は、**102万点・152t**のご寄贈品と配布させていただきました。多くの皆様方のご支援ご協力に感謝を申し上げます。



「信州こども食堂」で、食材を有効に使いながら、子どもたちと一緒に、美味しく食べています。

全国フードバンク推進協議会や全国食支援活動協力会を通じて全国各地の企業様団体・個人様から、多くのご寄贈品が届いています。

ご寄贈していただいた、支援物資は「信州こども食堂ネットワーク」や「フードパントリー」を通じて、支援が必要な家庭に渡り、子どもと加須間の笑顔に変わっています。



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

♥あしながおじいちゃんから ご寄付を戴きました

この度は、あしながおじいちゃんや MF、US、MK さんから「コロナ禍の影響で苦労している子どもたちのためにと・・・」のご寄付を戴きました。ありがとうございます。ございました。愛・ラブ・ユ〜



ご寄付を戴き、感謝のお手紙です。

皆さんのご寄付で、子どもたちが安心して生活するために必要な活動を通じて、多くの子どもや家族が救われ笑顔が増えています。

みんなで「おじいちゃん」感謝のポーズ。



女神さまから多くの「ご寄附やギフト・図書カード等をいただきます。ておりまこと感謝しております。」

女神さまは以下の方々です
TI/EI/SI、KY、KK、TM 様

(株)サンエイさんから「夢チャリティー寄付金」や「ボランティア活動」のご協力

昨年に続き、今年も株式会社サンエイさん社会貢献運動 SDGs の活動から「夢チャリティー贈呈式」にて寄付金を戴きました。また、社員の皆さんは、毎月信州子ども食堂長野・松本へのボランティア参加していただき、おかし詰め放題！わなげのゲームなど子どもと楽しんでいただいています。



(株)ジンコーポレーション(アポロ)のご協力に感謝!!



食品ロス削減と社会貢献
広がることも食堂支援

お客様の温かい気持ちが子どもたちに伝わってくれたらと思います。

食品などの物資を準備するスタッフら

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

マルハン松本店と川中島店様からご寄贈を受けました

マルハン松本店様と川中島店様からお菓子をそれぞれ戴きました。早速！信州子ども食堂ネットワークと支援物資を必要としている子どもやご家族の方にご活用しています。ありがとうございました。



富士見の池田さんご両親さんから
ご寄附や図書券を戴いています。

子どもたちは、文具類や参考書などを
買って勉強を頑張っています。



子ども食堂 運営NPO ホットライン信州

家庭への食料

2022年4月9日～2023年2月28日

KEIZ 松本店さんより沢山の お菓子を戴きました。 ← 新型コロナ禍で苦労している子どもと家族に支援

広がれ！ 信州子ども食堂

毎回 KEIZ 松本店さんよりお菓子
約 800 個をいただきました。
蔓延しているコロナ禍の影響を受け
ている子どもや家族と必要としている
家庭に配布させて戴きました。😊
多くの子どもたちに笑顔に変わっています。
多くの子どもたちから、「たくさん
のお菓子をもらって嬉しい」「美味し
かった」と多くの喜びの感想を毎回寄せ
られております。
KEIZ 松本店の お客様とスタッフ
皆様さん ありがとうございます。😊



マルイ大町店さんより、お菓子(写真)をいただきました

2021年3月9日(火)約780個
をマルイ大町店のお客様やスタッフ
の皆さんから暖かいお気持ちの端
玉菓子をいただきました。
毎回のご寄贈に感謝も申し上げます。



2016年の熊本震災時から、ご寄贈していただいている、この思いやり
のきずなが繋がるように、台風19号被災地豊野へ2月23日に被災地の
子どもたちや各信州子ども食堂と必要なご家庭にお届けしております。

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の toivo 様より 超強力接着テープ を戴きました。

2022年4月9日(土)12時～松本市合同庁舎で、「信州子ども食堂まつも」とで配ります。

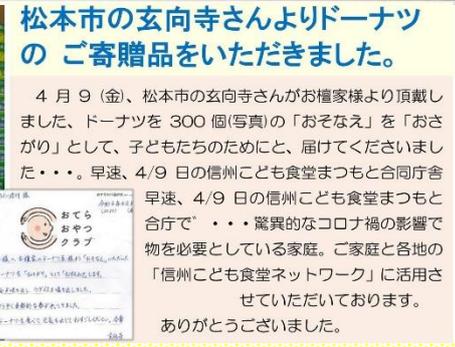
4月4日(月)、松本市の一般
社団法人 toivo さんから、貼っ
てはがせる両面テープすこびタ
長さ1m幅3cmの強力スーパー
テープ600個を頂きました。
貼るだけで地震・防災対策に
役に立ちます。この機会に、身
の回りに、テレビ・タンス・花
瓶・棚など危険箇所がないか？
検証してみてください。
お問い合わせ・お申し込みは
☎0120-914-994
NPOホットライン信州です。



子どもと家族を支えよう！ コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の玄向寺さんよりドーナツ のご寄贈品をいただきました。

4月9日(金)、松本市の玄向寺さんがお檀家様より頂戴
しました、ドーナツを300個(写真の「おそなえ」を「おさ
がり」として、子どもたちのためにと、届けてくださいまし
た・・・早速、4/9日の信州子ども食堂まつもと合同庁舎
早速、4/9日の信州子ども食堂まつもと
合同庁舎で・・・驚異的なコロナ禍の影響で
物を必要としている家庭。ご家庭と各地の
「信州子ども食堂ネットワーク」に活用さ
せていただいております。
ありがとうございます。



モランボン(株)さんから鶏の食菜鶏カルビの支援物資を戴きました。

5月2日(月)「モランボン株式会社」さんから、
新型コロナ禍の環境で頑張っている、子どもたち
と家族への緊急支援活動と新型コロナ感染対策防止に
取り組んでいる「NPOホットライン信州」への協力
として支援物資をいただいております。
今回は、鶏の食菜鶏カルビ 10袋 9500袋(95箱)
賞味期限2022年11月11日の商品となります。
ありがとうございます😊！早速 長野県内の信州こ
ども食堂ネットワークや食材を必要としてい
る方にお配りしています。
お問い合わせは、☎0120-914-994 へ



長岡市の正覚寺さんと松本市の玄向寺さん より「おすそわけ」を いただきました

5月3日(火)、おてらおやつクラブ加盟の長岡市の正覚寺 若槻司さんより、お檀家の皆
さんから「おそなえ」を「おさがり」として、お米やお菓子100個(写真)をいただきました。
5月5日(木)、松本市の玄向寺さんが、同様に檀家の皆さんから提供していただきました
ドーナツを500個(写真の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのためにと、届
けてくださいました・・・早速、5/6日の信州こども
食堂さすな宅配便皮切りに、信州こども食堂ネット
ワークなどのご家庭に活用させていただきます。
ありがとうございます😊



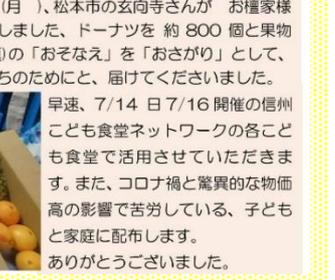
長野の長谷寺 さん松本の玄向寺さんより「おすそわけ」を戴きました。

5月25日(水)、おてらおやつクラブの長野市の長谷寺さんより、お檀信徒さんからの「ご
寄附」3万円をいただきました。長野県内の子どもたちのために活用させていただきます。
つづ5月26日(木)、松本市の玄向寺さんが、同様に檀家の皆さんから提供していただ
きました、ドーナツやお菓子・果物・衣類など約600
点をいただきました。早速、28日から開催の松本市、
安曇野市開催のこども食堂と信州こども食堂ネット
ワークなどの各地区こども食堂や新型コロナウイルスの
影響で支援物資を必要としているご家庭に活用させて
いただきます。 ありがとうございます。



松本市の玄向寺さんよりドーナツと果物の「おすそわけ」を いただきました。

7月11日(月)、松本市の玄向寺さんが お檀家様
より頂戴しました、ドーナツを 約 800 個と果物
など(写真の「おそなえ」を「おさがり」として、
子どもたちのためにと、届けてくださいました。
早速、7/14日7/16開催の信州
こども食堂ネットワークの各こ
ども食堂で活用させていただきます。
また、コロナ禍と驚異的な物価
高の影響で苦勞している、子ども
と家庭に配布します。
ありがとうございます。



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

大塚製菓のカロリーメイト 96,000 個のご寄贈を受ける

まん延するコロナ禍、5月31日(火)、「食」と「笑顔」を応援するため、株)クラダシ様経由で、大塚製菓さんのカロリーメイトロングライフ 60 個/ケース × 1,600 ケース=96,000 個が松本市の NPO ホットライン信州本部に寄贈されました🙏🍌

早速！塩尻市・上田市・長野市の拠点など県内各地の信州子ども食堂ネットワーク🍌や必要としている 子どもや家庭に、配られております。



昨今の物価高騰の折、少しでも多くの子どもやご家族の「笑顔と喜び」、そして「もったいない～ありがとう」のSDGの活動につながるれば幸いです。

🙏 ありがとうございます。🙏

お問い合わせは、
NPO ホットライン 信州
0120-914-994

4トントラック 2台からカロリーメイト
約6トンの荷物を下ろす▶



**ヨシケイ(株)提供の冷凍弁当の配布
始まる！6月13日～申込先着順**

NPO ホットライン信州では、🙏コロナ禍と急激な物価高騰でお困りの子どもと家族を応援しよう！と🙏、全国フードバンク推進協のご協力を得て「バラエティミール(冷凍弁当おかずのみ)や食材などの提供を、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂を通じて 約1万食の配布を始めました。

ご希望の方は、地域の各信州子ども食堂ネットワークのごも食堂で配布いたします。🙏



バラエティミール 1食で15品目以上の食材と6種類の味が楽しめる、バラエティ豊かなお弁当



公益財団法人キューピーみらいたまご財団様から ご寄贈がありました
驚異的な「コロナ感染と超物価高」に勝つために！各地 信州子ども食堂へ

7月6・8日全国食支援活動協力を通じて、昨今の驚異的なコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、公益財団法人キューピーみらいたまご財団様から、「あえるパスタ 和風とりそばろ」3,600 個(100 袋)が長野市・松本市・塩尻市のログ拠点に届けられました。🙏

ありがとうございました🙏🍌

県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂ネットワーク」や「必要としている ご家庭」に 順次配らせていただいております。🙏



松本市 ログ拠点

子どもと家族を支えよう！
子ども&女性応援プロジェクト 信州子ども食堂 inしおじり



塩尻市ログ拠点



長野市ログ拠点

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 お願いします。

(株)ナガノトマト様と玄向寺様から支援物資をいただきました。

7月20日(水)、(株)ナガノトマト様から国産ピーズと4種類のペリーのスムージーを120袋戴きました。

また、玄向寺様からトウモロコシ50本をいただきました。早速、7/21日開催の茅野市のキッチン天香皮切りに、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂で活用させていただきます。🙏🍌

ありがとうございました。



子どもと家族を支えよう！
コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

長野市の長谷寺さんからお米 30 ㌔・新潟県三条市の最明寺さんから水ようかん・そば等 80 点をいただきました

8月19日(金)、おてらおやつクラブの長野市の長谷寺さんより、お檀信徒さんからの「お米 30 ㌔」をいただきました。

また、新潟県三条市の最明寺さんから、水ようかん・そば・お菓子等 80 点をいただきました。早速、猛威を振るうコロナ禍と物価高のあおりを受けて苦勞している家庭に、8月20日開催の長野県内の信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂で配らせていただきます。🙏 ありがとうございます。🙏



**アサヒグループ食品様から おみそ汁ギフトなどいただきました
コロナ禍と物価高騰に勝つために！信州子ども食堂にて活用**

8月30日(木)、全国食支援活動協力を通じて、アサヒグループ食品様から、フリーズドライおみそ汁賢汁ギフト・ひきわり豆のトマトカレーなど16種類、17,832袋、約11tが届きました。ありがとうございます😊

早速！「信州子ども食堂ネットワーク」で配るほか、長期化するコロナ禍と超物価高で苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの「各地域子ども食堂」や「ひとり親家庭など必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 にお願いします。



白心寺様から物資をいただきました。

9月8日(木)、上伊那宮田村の白心寺さんからタオル・砂糖・缶詰など70キロを戴きました。

早速！信州子ども食堂まつもと始め、上伊那～飯田地域の子ども食堂、更に・・・生活困窮者支援に役立たせていただきました。❤️

長野県内外の「おてらおやつクラブ」の皆さんから、毎回「おさがり」として、戴いております。🙏ありがとうございます❤�️



**セキシステムサプライ様から お皿やカップをいただきました。
コロナと物価高に勝つために！各地信州子ども食堂にて活用**



9月26日(火)、全国食支援活動協力を通じて、セキシステムサプライ様から、昨今のコロナ禍と超物価高で苦慮している子どもと家族のために、お皿やカップをいただきました。総数4万点700キロ2tが長野市と松本市に入りました。ありがとうございます😊

県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と必要としている「各信州子ども食堂ネットワーク」に順次配らせていただいております。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 にお願いします。



**子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂
デリシア様や市民からお米 350キロいただきました。**

9月28日(水)、株式会社 デリシア様から毎月長野県産・あずみ産産こしひかり32袋230キロと29日市民(農家)から120キロをいただきました。

コロナ禍と物価高で苦慮している子どもと家族のために信州子ども食堂ネットワークの各地子ども食堂に順次配っていきます。ありがとうございます😊



農家さんからのお米の奇贈



玄向寺様から支援物資をいただきました。



9月12(月)、松本市の玄向寺さんがお檀家様より頂戴しました、ドーナツを約600個とジャガイモ20キロ、カボチャ・りんご・子ども服(写真)などの「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのために、届けてくださいました。コロナ禍と加速している物価高に苦労している家庭を支えようと、9/17～18日松本・塩尻・諏訪・長野での各子ども食堂で配られました。😊

9月24日(土)、地中海トマト様から取り立てのさつま芋約100キロの提供



子どもと家族を支えよう！ コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

9月30日(金)、TSBテレビ信州に当法人NPOホットライン 信州のコロナ禍での物価高に直撃を受けている「ひとり親家庭等の物資の配布の支援活動」の取り組みが放映されました。



TSB テレビ信州 2022.9.30 放映



セキシステムサプライ様から お皿やカップをいただきました。
コロナと物価高に勝つために！各地信州子ども食堂にて活用



9月26日(火)、全国食支援活動協力会を通じて、セキシステムサプライ様から、昨今のコロナ禍と超物価高で苦慮している子どもと家族のために、お皿やカップをいただきました。総数4万点700*、2tが長野市と松本市に入りました。ありがとうございました。県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と必要としている「各信州子ども食堂ネットワーク」に順次配らせていただいております。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。

玄向寺さんからの支援物資

10月7日(金)、松本市の玄向寺さんからお檀家様より頂戴しました、ドーナツを約700個(写真の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのために、届けてくださいました。コロナ禍と物価高に苦労している子どもと家庭に届けさせていただきます。ありがとうございました。



長光寺さんからの支援物資



10月8(土)、上田市の長光寺さんから、「おすそわけ(写真)」お菓子やフルーツ缶詰、詰め合わせセット約200点50*も戴きました。ありがとうございました。

信州子ども食堂ネットワークで、コロナ禍と物価高騰の影響を受けている子どもたちご家庭に宅配をさせていただきます。

10月2日(日)長野ライオンズでは、県単位の青少年育成事業の中のリトルリーグ信越連盟の秋季大会にフードドライブを入れての開催。安曇野市豊科高家広場他3会場に品物を約8,000点1tが集まり、特に(株)KOUBO様からパン2,000個などをNPOホットライン信州が受取りました。リトルリーグと県ライオンズの皆さんありがとうございました。



子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

(株)日本アクセスさんから「食品類 1,000点」のご寄贈を受けました

10月5日(月)株式会社日本アクセス長野支店様から、コロナ禍で頑張っている子どもと家族を応援する為、調子レー・すりごま・水分補給ゼリー・トマトジュース・こんぶカップなどの食品類約1,100点300kg(写真)のご寄贈を受けました。早速、10/8日～の信州子ども食堂松本、10/10日台風19号被災地長野・豊野地区などの各子ども食堂や新型コロナ禍での影響を受けた、支援を必要としている子どもや家族👨‍👩‍👧💕ご家庭に配らせて頂きます！(株)日本アクセス皆さん❤️ありがとうございました🙏🍎🍌



食品の提供・譲渡に関する合意書の提供



株)日本アクセスとNPO ホットライン信州が食品提供の合意書に基づき、今後は食品提供を受けることになりました。お問い合わせは、NPO 法人ホットライン信州(信州子ども食堂) ☎0120-914-994 へ

上伊那の圓浄寺様からご寄贈を受けました

10月26日(水)に上伊那郡田村の圓浄寺 古藤崇志様より、おすそわけお米 155 ㍓6 体(写真)を当法人本部に届けてくださいました。



松本市波田の大月農園から「ナシ」をいただきました。

10月13日(木)、松本市波田の大月農園さんから、みずみずしい美味しい「なし」約2100玉120㍓をいただきました。

また、9月28日も「なし」1200玉120㍓をいただき、今年2回目です。

信州子ども食堂ネットワークで、コロナ禍と物価高騰の影響を受けている子どもたちご家庭に宅配をさせていただきます。



10月10日(月)、北熊井営農改善組合様から無農薬のジャガイモ160㍓を戴きました。小松千万蔵組合長から、遊休農地を活用してできた野菜などを、生活困窮者支援で活躍しているホットライン信州に寄贈していただきました。早速！コロナ禍と物価高で苦労している人へ配りました。

北熊井営農改善組合様から無農薬のジャガイモを戴きました。

10月16日(金)市民タイム



塩尻 遊休農地の解消に取り組む塩尻市片丘の北熊井農用地利用改善事業(住いのほくと)が、県内でも子ども食堂を運営支援しているNPO 法人ホットライン信州にジャガイモ160㍓を寄贈していただきました。

子ども食堂にジャガイモ寄贈 北熊井営農組合

州にジャガイモ160㍓を寄贈した。物価高騰で苦しむ家庭への支援に役立つ。同市片丘にある同法人の物産拠点に届けられた。ジャガイモは組合役員が育て、今年も200㍓を寄せておりました。合計360㍓に達した。小松千万蔵組合長は「前回好評だったと聞いた。いろいろな料理に使っていただければ」と願った。

「物産高騰で家族が圧迫されている。苦しんでいる家族や子供たちに届けたい。物産高騰で活用したい」と感謝していた(浅井文)

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-99 をお願いします。

マルイ大町店様からご寄贈を受けました。

つづいてマルイ大町店様より、お菓子約300点15㍓を戴きました。早速！10/29～30の信州子ども食堂で活用させていただきます。



また、コロナ禍と超物価高で苦勞を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様にご利用していただきます。

ありがとうございました。



10月29日(土)、木曽の青木さんから朝一の取り立てキャベツ約300個をいただきました。早速、並柳団地公民館の子ども食堂、寄り添い子ども食堂、ゆる笑子ども食堂などの必要としている家庭などに配っています。

(株)パロー様から食料品 180 千円をいただきました。

10月19日(水)、株式会社 パロー様から醤油・チキンカレー・ごま油・スイートコーンなど、約250点、180千円の食材のご寄附を戴きました。

早速！長引くコロナ禍と物価高で苦慮している子どもと家族のために、信州子ども食堂ネットワークの各地子ども食堂に順次配っていきます。ありがとうございます。



南松本店から、子ども食堂の実施検討入る

また、10/19パロー-南松本店において、パローホールディングスさんと NPO ホットライン信州の会議を開催し、地元店舗から食品の提供、フードドライブ・フードパントリーの実施、更に！信州子ども食堂の開催などについて、会場視察を行い検討に入りました。



マルハン様と西ノ入様から支援物資をいただきました。

10月20日(木)、マルハン松本店さんから、お菓子 120個 1箱を戴きました。早速！信州子ども食堂の子ども達に配りました。ありがとうございます。



←10月21(金)、松本市の西ノ入養鶏組合さんから「信州たまご もみじ」50個1箱を藤原さんに届けていただきました。

早速！信州子ども食堂まつもと学び塾と塩尻の星空★子ども食堂で、サンドイッチに入れて美味しくいただきました。ありがとうございます。



子どもと家族を支えよう！ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を支える 信州子ども食堂

上伊那郡の白心寺さんとデリシアさんからご寄贈を受けました

10月27日(木)に上伊那郡宮田村の白心寺さんより、おすそわけお米 20千円、2体と砂糖、さつま芋など(写真)を当法人本部に届けてくださいました。また、(株)デリシアさんより、白米 14袋 140千円を戴きました。早速！10/29~30の信州子ども食堂で、活用させていただきます。



▲上伊那郡の白心寺さん

▲株式会社デリシアさん

また、コロナ禍と超物価高で苦労を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様にご利用していただけます。ありがとうございます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。

コロナ禍と超物価高 から 子どもと家族を守る！

マルコメ(株)様よりご寄贈を受けました。靴甘酒・カレールー等 15,840袋

10月31日(月)、長引くコロナ禍と急激な物価高に先行きが見えない不安が人々の気持ちを萎縮し、子どもと家族にストレスが蓄積している中、当法人に、生活困難な子どもと家族にと「食」を応援するため、マルコメ(株)から、靴甘酒・大豆粉のカレールー・大豆のお肉の味付きそば粉・液体みそ、料亭の味しじみ(写真)約 15,840点、1トが長野市と松本市の拠点にご寄贈されました。ありがとうございます。

早速！信州子ども食堂ネットワークの各食堂と必要としている家庭に配布していきます。お問い合わせは、0120-914-994



▲長野市三本柳へ

▼松本市本部へ



子どもと家族を支えよう！ 支援～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

毎年、川上村の林様から白菜をたくさんいただきました

11月2日(水)南佐久郡川上村の農家の林さんから「信州子ども食堂の食材や、また必要としている方々に…」と、新鮮な白菜約 100玉、ブロッコリー10株・大根・カボチャなどをいただきました。長野交通準備(小諸市)の総管支所長さんが受け取り、松本市の本部事務所に届けてくれました。毎年ありがとうございます。



NOP ホットライン信州に高野豆腐の日(11/3)長野県内4社が製造した商品をご寄贈

2022年11月3日(木) 信濃毎日新聞

★凍り豆腐商品を寄贈

全国凍豆腐工業協同組合連合会(長野市)は2日、凍り豆腐商品約1200点とレシピ本20冊をNPO法人ホットライン信州(松本市)に寄贈した=写真。同連合会が2020年に「高野豆腐の日」(11月3日)を制定したのを機に寄贈を始め、3年目。県内各地の子ども食堂を支援しているホットライン信州に県内4社が製造した商品を贈った。

長野市内で贈呈式を開き、同連合会の古畑洋一専務理事は「たくさん食べて健康に元気にすくすく育てほしい」とあいさつ。ホットライン信州の長野地区担当、篠原修子さんは「この夏くらいから食料が集まりにくくなっている。本当にありがたい」と感謝した。

11月2日(水)、全国凍豆腐工業協同組合連合会さんから凍り豆腐商品約 1200点とレシピ本 20冊を NPO法人ホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)にご寄贈していただきました。

同連合会が「高野豆腐の日」(11月3日)を制定したのを機に、一昨年につづき2回目です。NPOホットライン信州からは、長野地域のスタッフ4名が受け取りに行きました。



受け取った凍り豆腐は、信州子ども食堂ネットワーク他、物価高騰で苦労している子育て世帯に配布されます。



子どもと家族を支えよう！

コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

上伊那郡の白心寺さんと長野市の長谷寺さんからご寄贈を受けました

12月の師走を迎え上伊那郡宮田村の白心寺さんより、おそぞけお米 20 ㍑、2 体と砂糖、のりなど(写真)を当法人本部に届けてくださいました。また、長野市古里カフェが長谷寺さんよりお米 40 ㍑、お菓子 15 袋、ジャンメリー 4 本、洋服 10 点のご寄贈を受けました。早速！12月の信州子ども食堂ネットワークで、活用させていただきます。

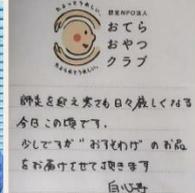


▲長野市の長谷寺さん

また、コロナ禍と超物価高騰で苦勞を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様へ、ご利用していただきます。ありがとうございます。



▲上伊那郡の白心寺さん



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！

波田の太田さんからりんご 600 ㍑

11月25日(金)と26日(土)波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)1200個 600 ㍑のご寄贈がありました。

小粒ですが、とても美味しいです。

早速、26日信州子ども食堂まつもとと信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。



▲美味しいリンゴ ありがとう！

キューピー(株)様と柄木田製粉様から 食材をいただきました

まん延するコロナ禍と物価高騰に勝つために！各地 信州子ども食堂にて活用

12月21日(水)、全国食支援活動協会を通じて、まん延するコロナ禍と物価高騰で苦慮している子どもと家族のために、3,240袋、650㍑(90ks)の寄贈を長野市のNPOホットライン信州にっこりフードバンクで受取りました。

つづく、長野市の柄木田製粉様より「更科そば」300個 80kg 頂きました！ありがとうございます

県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂ネットワーク」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。

多くの親子に笑顔を！



長野市 にっこりFD



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！

コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

松本の玄向寺さんから長芋65本120㍑をいただきました。

12月21日(火)、松本市の玄向寺さんがお檀家様より頂戴しました、長芋を約65本(写真)120㍑の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのために、届けてくださいました。

コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に届けさせていただきます。ありがとうございます。

早速12月24日(土)と12月30日の信州子ども食堂まつもとと学び塾と信州子ども食堂島内などの子ども食堂とひとり親家庭などに配布させていただきます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。



『笠地蔵プロジェクト』贈呈式呈

12月7日(水)、松本市の玄向寺さんで『笠地蔵プロジェクト』贈呈式が行いました。3年目を迎えた今年、お米1ト、大根200本、ドーナツ750個、ジャガイモなど約2トの食料品に、ご寄付75,000円をいただきました。早速！明日8日の信州子ども食堂まつもと、11日の安曇野、塩尻など各子ども食堂とまん延するコロナ禍と物価高騰で苦勞し必要としている、子どもを抱える家庭などへと届けられます。最後は、12/30日の「年越し信州子ども食堂」で全てを配布します。



松本市の玄向寺さんよりドーナツと銀杏・お米の「おすそわけ」をいただきました。



12月23日(金)松本市の玄向寺さんが お檀家様より頂戴しました。ドーナツを約600個とギンナン60㌔・餅米30㌔など(写真)の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのために、夕暮れ時に届けてくださいました。

早速、コロナ禍と驚異的な物価高の影響で苦劳している、冬休み中の子どもと家庭と明日の信州子ども食堂まつもと学び塾をスタートに各地域子ども食堂で活用します。ありがとうございました。

パソナさんの講話とご寄贈を受けました



師走を迎えた12月27日(火)パソナグループさんがNPO ホットライン信州の活動の話しと約千点のご寄贈品を受けました。

早速!!12/30日開催の「年越し信州子ども食堂」で配布します。パソナの皆さんありがとうございました。🐼

また、コロナ禍と超物価高騰で苦劳を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様へ、ご利用していただきます🐼。



新聞紙エコバックや食品・カイロなど支援物資を受け取りました。



上伊那の圓浄寺様と松本市の玄向寺様からご寄贈を受けました。

12月29日(金)上伊那郡宮田村の圓浄寺古藤様より、おすそわけお米110㌔・5体(写真)を当法人本部に届けてくださいました。また、松本市の玄向寺寂須さんがお檀家様より頂戴しました、りんご60㌔。お米・野菜玉ねぎ・白菜等20㌔・50点をいただきました。ありがとうございました。



また、12/30年越し信州子ども食堂 in 島内で、コロナ禍と超物価高騰で苦劳を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様にご利用していただきます🐼。ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 にお願いします。

ろうきん松本支店と本店の青年女性委員会からご寄贈



ろうきん松本支店は、▲2月に、10月には本店▼の各青年女性委員会らが会員から集めた支援物資をNPO ホットライン信州にご寄贈していただきました。

年末年始を迎え、支援の輪

年越し信州子ども食堂 in 島内

12月30日(金)、松本市島内公民館で、「年越し信州子ども食堂 in 島内」を開催し、子ども110名を含む約220名が参加しました。「まん延するコロナ禍と物価高騰で苦劳している子どもと家族が年末年始を明るく笑顔で迎えて欲しい!!」と、本格手打ち年越しそばを提供したのをはじめ、ゆで餃子・豚汁・お米・ドーナツ・おやき・野菜・生活用品・生理用品・衣類など生活支援物資の配布に親子の笑顔いっぱい!!



手打ちそばの東方町会様へ謝状



手打ちの年越しそば。120食を「東方そばの会」さん、「同志会」さんの皆さんがこねてくれました。



水餃子の麺屋黄昏様へ感謝状授与



水餃子120食を美味しく食べる子どもたち



株ベネフレックス様から飲料水

株ベネフレックス様から飲料水500本、



柳沢林業様から野菜

食材柳沢林業様からニンジン500本、



綿あめのエクセラ高校の皆さん



2022年度 本店営業部 青年女性委員会 2,551点の物品が集まりました! ご協力ありがとうございました!



パロー様から食材等の提供

松本市 信州子ども食堂 in パロー南松本店

12月3日(土)、2023年1月14日(日)、2月12日(日)、松本市村井のパロー南松本店で開かれた「信州子ども食堂 in パロー南松本店」には、「子ども食堂」と「フードバンク」が同時に開催されるのは、長野県初(全国初?)となり、子ども75名を含む122名が参加。パロー様からは、パローパン、赤飯、お菓子の袋詰め等々提供していた。



パロー様からパン、牛乳、菓子の提供



フードバンクには、上伊那郡の圓浄寺古藤親子様や日本基督教団松本教会様など35名から1850点650千円物資をいただきました。

また、子ども広場のオープンに当たっては、改装工事をいただいた岡田様、ご寄付の寿石油様、あらかわ薬局様他個人の多くの皆様方ご支援ご協力に感謝申し上げます。



王将弁当が大好き

信州子ども食堂ネットワーク

「王将弁当」配布&フードパントリーを信州子ども食堂ネットワークで開催しました。春休み・夏休み・冬休みを中心に、1回50食の王将弁当は、あっという間に予約が埋まってしまふほどの盛況ぶりです。毎回50食づつ、子ども食堂や宅配も含めて、より多くの子どもを中心に家族の方々に届けることができました。



王将さんのお店は県内(松本・上田・諏訪・飯田)の4点で、約1回1,500食です。餃子、唐揚げ、ウィンナーが入ったお弁当は子どもの好きなものばかりで、みんなに喜ばれました。子どもたちは、王将弁当を食べ、みんな元気に一生懸命に頑張っています。



子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

CJ FOODS JAPAN 様から、美酢ゼリー・ざくろのご寄贈 「コロナ禍と物価高騰」に勝つために！各地の信州子ども食堂にて活用

2月11日(土)、全国食支援活動協会を通じて、CJ FOODS JAPAN様から、美酢ゼリー(5,328個)と美酢ざくろ&アールグレイ(24,192個)の合計29,520個5tが松本市の本部事務所と上田市・長野市のそれぞれの物資拠点に届きました。ありがとうございます。昨今のコロナ禍で物価高騰などで苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。

子どもと家族を支えよう！

支え~助けあい~ 心と心がかよう 信州子ども食堂



2月11日大富の中、長野牛乳さんの郵送システム活用で受け取る



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。

長光寺さんと玄向寺さんから支援物資をいただきました

2月中旬、上田市の長光寺さんから、「おすわけ(写真)」子どもが喜ぶお菓子や飲み物約200点を「おさがり」として戴きました。ありがとうございます。信州子ども食堂ネットワークで、物価高騰の影響を受けている子どもたちご家庭に宅配しています。



2月28日(火)、松本市の玄向寺さんがお檀家様より頂戴しました、ドーナツを約400の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのために、届けてくださいました。コロナ禍と加速している物価高騰に苦慮している家庭を支えようと、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂でひとり親家庭などに配られました。お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 お願いします。

長野牛乳



創業80年の歴史 長野牛乳株式会社

企業のカ 広がり! 信州子ども食堂

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

ロッテ様から、プチケーキく吉祥果のあるズコットのご寄贈 「コロナ禍と物価高騰」に勝つために！各地の信州子ども食堂にて活用

2月11日(土)、全国食支援活動協会を通じて、ロッテ様より、ことりっぷふんわりプチケーキく吉祥果のあまおうズコット(常温)212ケース(1060個)が2tが松本市の本部事務所に届きました。ありがとうございます。昨今のコロナ禍で物価高騰などで苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただきます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。



いろは堂おやき工場視察 おやきの種類が豊富で、製造工程見学。おやきは、毎月5千個ご寄贈受けています。

こども食堂のつくり方

こども食堂には、いろいろな形と多様性がありますが、「こうでなければ」という決まりはありません。

「なにかをはじめたい」という方のために「こども食堂のつくり方」のイメージを簡単に紹介します。

まず 準備として
イメージしてみましょう

- 月に何回開くか
(月 1~2 回が多い)
- 1 回の利用者数は何人か
(1 回 20~30 食が多い)
- どんな人に来てほしいか
(子ども・親・サポーター)

他地域の実施例を見学

「長野県各地の『こども食堂』」を参考に、お近くのあるいは自分の思いと共通するような場所へ見学に行ってみましょう
(公民館・お寺・個人宅など 数カ所見学)

よし！ やってみようと思ったら、まず **実行**

仲間を集めましょう

開催の周知や会場の準備、食材の手配、料理、片付けなど、仲間と分担するのがおすすめ

「場所とネットワークを」はじめてから仲間や協力者が増えていくこともあります(食材を提供する方、調理師・栄養士の方、資金の提供者やボランティアの募集)

<実際に考えるあれこれ>

● **場所**
公民館などの公共施設、お寺、個人宅、飲食店など。利用者数にあわせて、無料または安価で利用でき、こどもたちが集まりやすいのが良い。

● **運営費**
場所代、光熱水費、食材費(子ども無料・大人 100~300 円のカンパ)、チラシ作成などの宣伝費

● **周知・呼びかけ**
こどもたちへどのように知らせるか。どんな人に来てほしいか。どんなチラシを何枚作り、どこへどのように配るか。

● **当日の運営方法**
準備の開始から調理、片付けまでの段取り。食事提供以外の企画。役割分担。総括と次回への活用。

信州こども食堂ネットワーク保険加入について

NPO ホットライン信州では、こども食堂の活動への参加者を対象とした賠償責任保険と障害保険に加入しました。対象者は、信州こども食堂への参加者(子ども、親、スタッフボランティアなど)が対象となります。

保険内容

賠償責任保険	身体財物	2 億円
	管理財物	5 0 万円
	人格権侵害	5 0 万円
	事故対応費用(1 事故・保険対応中)	5 0 0 万円
	見舞費用 死亡	5 0 万円
	後遺障害	2 万円~5 0 万円
入院日数に応じて 2~1 0 万円/通院日数に応じて 1~5 万円		
傷害保険	死亡保険金額	5 0 0 万円
	後遺障害保険金額	5 0 0 万円~2 0 万円
	入院保険日額	5, 0 0 0 円
	手術保険金額	入院保険日額の 5, 1 0 倍
	通院保険日額	5, 0 0 0 円

こども食堂に参加・活動していて・・・



怪我をしたとき、させたとき 食中毒等にかかったとき



保険の適用される条件として、信州こども食堂として活動していること

- ・開催の事前報告必須(当法人一覧表に明記)、チラシに「共催 NPO ホットライン信州」だと完璧
- ・開催後の人数報告必須(子供・大人・スタッフ)、報告書や写真があれば完璧。
- ・信州こども食堂ネットワークでの「各こども食堂」への参加と食材・機材等の運搬などとなります。

子ども支援リレーの充実
「子ども用品・服などの無料提供と食品・子ども用品寄贈募集受付の検討」

《重要》安全に細心の注意を！

こども食堂をはじめるとは、特別な資格はいりませんし、届け出を出す必要はありませんが、食べものを提供する以上、その安全には細心の注意が必要です。

信州こども食堂ネットワークでは、調理上の注意などをまとめた「衛生マニュアル」や「こども食堂サポートセンターの安心手帳」を推奨しています。



不測の事態に備えた保険加入は「ホットライン信州」

信州こども食堂ネットワークが応援します

運営方法はもちろん、県民や協力企業などからご提供いただいたお米・食材や子ども用品の分配、チラシの作成とNPOホットライン信州ホームページでの周知、「信州こども食堂ネットワーク便り」の編集、指導員・専門家の派遣など、「なにかをしたい」みなさんを応援しています



おさがりの服やぬいぐるみなどが並んだ会場

おさがり会 親子で品定め 吉田東 公民館

塩尻市の吉田東公民館で、不要になった子供服などの交換会「吉田おさがり会」が初めて開かれた。持ち帰りに点数制限はなく、親子連れが多々来場して品定めしていた。

子供服は乳児、90、150センチサイズ別に仕分けされて並び、七五三の衣装、靴やかはら、おもちゃもあった。家庭で整理した洋服を持ち込む来場者も多かった。

学び合う「こすたば」開設

県内でもっとも食事を運営・支援するNPO法人ホットライン信州は、このほど、塩尻市片丘熊井の旧大北館(元酒店)に小学生を対象にした学びの場「こすたば」を開設し、び合っ場」を意味し、運営・支援するNPO法人ホットライン信州と、サポート役の大人や中学生が参加し、宿題を教え合い、工作も提供するのも特徴だ。

対象にした学びの場「こすたば」は「共に学び合う」をコンセプトとし、児童同士が分からない点を教え合うことを基本とする。参考書や問題集などの教材は無料提供するのも特徴だ。

片丘小学校3年生の宮

学び合う「こすたば」開設



段ボールで椅子作りを楽しむ児童ら。その後は宿題を教え合った

ホットライン信州 片丘で週2回 小学生対象

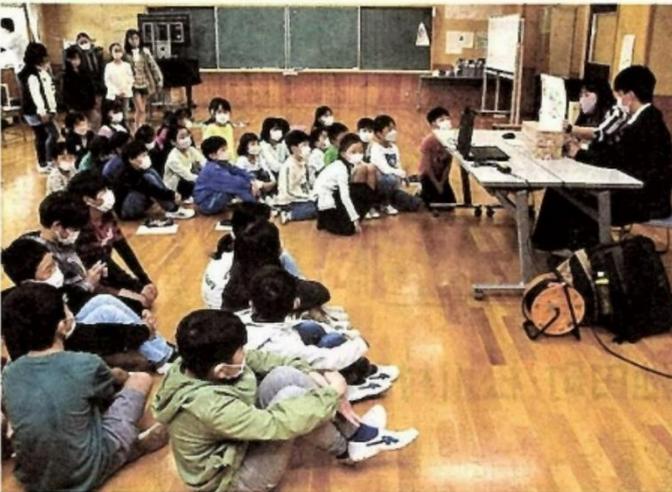
午後5〜7時に開き、全教科を学べる。利用はカンパ制(1日500円から)だが払える人が払えばいい。問い合わせは浅田さん(090-9118-5899、電子メールはco.su.ta.ba@gmail.com)

2022年5月18日(水) 信濃毎日新聞

学校なら行きやすい 夏休み 気軽に

小学校に「出張」

子ども食堂



裾花小の児童に子ども食堂を紙芝居で紹介する篠原さん親子(右)

長野・裾花小で試み 理解広げたい

NPO法人ホットライン信州(松本市)は今年の夏休みに、長野市の裾花小学校で「信州子ども食堂」を開く。同法人が関わる県内128カ所の子ども食堂は地域の公共施設などで開いており、小学校への「出張」は初めて。より子どもに身近な場所で開催、子ども食堂の存在を知ってもらう狙いで、他の地域にも広げたいという。

17日には同法人長野地区担当の篠原修子さん(長野市中御所)と長男で高校2年の多緒さん(16)が同小に出向き、手作りの紙芝居などで子ども食堂を紹介した。野菜が苦手

な小学生「しんちゃん」が子ども食堂で「過す様子を描いた紙芝居に、3年生と5年生の計約60人が見入った。バランスの良い食事や健康やかな成長を促す子ども食堂は、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の「すべての人に健康と福祉を」といった理念に合致することも説明。5年生の小林香介君(10)は「子ども食堂のことは初めて聞いた」と興味深そうに話していた。

信州子ども食堂は普段、市ふれあい福祉センターで月に1回開催している。出張は、篠原さんの子どもが同小に通っている縁などから実現。同小の柘津賢司教頭も「子どもが地域に支えられていることを実感できる機会になる」と歓迎する。出張日は未定。

篠原さんは「子ども食堂には『孤食』やひきこもりを防ぐといった役割もある。貧困家庭の支援というイメージが強く足を運びづらかった人も、会場が学校なら利用しやすい」と話す。同法人専務理事の青木正照さん(72)は「学校で開くことで、子どもたちが手伝ってくれるような雰囲気のできればうれしい」と期待していた。

手作り弁当で子供ら支援

豊科 ココロカフェが配布

生活にゆとりのない家庭の支援などを目的とした催し「あつみのcocoro(ココロ)カフェ」(実行委員 豊科市豊科老人福祉センター)で開かれた。ソートされた弁当の配布などがあり、子供を中心に大勢が訪れた。弁当の食材は共催する市社会福祉協議会に



子供たちに配る弁当を準備する市民ボランティアたち

冷やしうどんやかき氷提供

松本の公園で「信州(子ども)食堂」



冷やしうどんやかき氷などが振る舞われた信州子ども食堂＝松本市内で

子どもや家庭に食事や食材、生活用品を提供する「信州(子ども)食堂」が9日、松本市本庄の松本駅前記念公園で開かれ、冷やしうどんやかき氷などが振る舞われた。NPO法人ホットライン信州(同市)が主催し、市内で洋食店を運営する一方、被災地でボランティア



活動もしている浅田修吉さん(左)らがゆで卵やチャーシューが入った冷やしうどんを作り、かき氷もイチゴやメロンなど四種類のシロップを用意した。米、タマネギやカボチャなどの野菜、お菓子、生理用品なども配布した。男児と訪れた三十代の女性は「食事は子どもが楽しみにしている。食材などがもたえるのは助かります」と話した。ホットライン信州専務理事の青木正照さん(右)は「コロナ禍の中、さらに急激な物価高騰が生活に追い打ちを掛けている。冷やしうどんやかき氷を食べ、これからくる夏を乗り切ってほしい」と話していた。同公園での信州(子ども)食堂の開催は毎月第一、木曜が午後五時から、第四土曜が午前十一時から。(石川浩)

7月14日(木) 信濃毎日新聞



かき氷を受け取る子どもたち

無料。午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)。16、17日は午前10時から同館の原明芳館長による展示解説がある。「子ども食堂」かき氷も提供 松本のホットライン信州松本市のNPO法人「ホットライン信州」が14日夕、子どもに食事などを提供する

「子ども食堂」を同市本庄の活動拠点「学び塾」で開いた。冷凍弁当などの食品品や生活物資、冷やしうどん、マンガ入りのかき氷が提供され、訪れた人が味わった。この日は雨が降る中、家族連れらが食品品を受け取った。家族五人で訪れた市内の小学2年女児(う)は「マンガが好きなのでおいしかった」とかき氷を頬張った。1人暮らしの市内の男子専門学校生(20)は「物価が高くて不安だが、こういう場があると安心する」と話した。同法人の青木正照専務理事(右)は「新型コロナ禍が続き、物価高が家計を直撃している。雨天なので中止しようかという声もあったが、こういう時こそ聞くのが私たちの使命だ」と話していた。

「子ども食堂」を同市本庄の活動拠点「学び塾」で開いた。冷凍弁当などの食品品や生活物資、冷やしうどん、マンガ入りのかき氷が提供され、訪れた人が味わった。この日は雨が降る中、家族連れらが食品品を受け取った。家族五人で訪れた市内の小学2年女児(う)は「マンガが好きなのでおいしかった」とかき氷を頬張った。1人暮らしの市内の男子専門学校生(20)は「物価が高くて不安だが、こういう場があると安心する」と話した。同法人の青木正照専務理事(右)は「新型コロナ禍が続き、物価高が家計を直撃している。雨天なので中止しようかという声もあったが、こういう時こそ聞くのが私たちの使命だ」と話していた。



目録を受け取るNPOホットライン信州の青木専務理事(中央)

非常用食料を 苦勞する家庭へ

長野銀がNPOに寄贈

長野銀行(松本市)は13日、特定非営利活動法人NPOホットライン信州(同市寿北5)へ、缶入り乾パン約5160個を寄贈した。同法人が事務局を担う「信州(子ども)食堂ネットワーク」の活動を介し、県内の必要家庭へ配られる。同行本支店に備える災害用品のうち、今年中に保存期限を迎える非常用食料を贈った。宮崎幸男専務は贈呈式で「フードロスの削減と有効活用が図れた」とあいさつした。県内約130カ所で開催される子ども食堂をサポートする同法人の青木正照専務理事は「物価高で苦勞している家庭が少なくなく、大変ありがたい」と感謝した。(横内里美)

「信州子ども食堂えんぱーく」が8月1日NHKイブニング信州で放映されました
「信州子ども食堂えんぱーく」支援物資など弁当 800食の配布と「おさがり会」や「片丘会場」で ども食堂開催



弁当・生活支援物資 無料配布



コロナ禍に物価高騰... 県内経済の冷え込みも課題に



訪れた人 前約してなかなか外食にも行けない 支援があるとすこく助かる



コロナ禍に物価高騰... 県内経済の冷え込みも課題に



▲(株)ジン・コーポレーションの社長から寄附金26.6万円に信州子ども食堂の子どもスタッフたちから感謝状を渡した。



今年も2団体(前列右左)に支援金を寄せた松本ユネスコ協会の役員たち(前列中央=大嶋会長)

地域の文化財や自然環境の保護活動に取り組み松本ユネスコ協会は19日、子供の居場所づくりや食事提供の場となる「子ども食堂」の運営や支援に取り組んでいる松本地方2団体に活動支援金を寄せた。協会の大嶋三紀夫会長(69)が、県内各地

子供の居場所作り 応援

松本ユネスコ協会 2団体に支援金

子どもの未来にご寄附が！

コロナ禍と物価高に不安・困難を抱える子どもと家族緊急支援

の子ども食堂の運営をサポートするNPO法人ホットライン信州(松本市寿北5)の中

2022年(令和4年)7月23日(土曜日)



▲北信ガス(株)様より10万の寄附金を受け取る、NPOホットライン信州の傳田事務局長

2022年8月3日(火) 市民タイムス

おいしいジャガイモ寄贈 北熊井営農改善組合



子供たちを松組にイモを合長

長野県の充足率は全国9位

	子ども食堂の数	充足率(%)	20年比増減率(%)
全国	6014	22.9	21.3
長野	152	31.2	▲1.9
新潟	101	18.4	32.9
福井	37	16.6	12.1
石川	37	16.4	▲38.3
富山	24	13.4	9.1

(注)2021年結果、▲はマイナス(出所)全国子ども食堂支援センター「むすびえ」



小学生らが食事や会話を楽しむ場を提供する(松本市で開いた信州子ども食堂)

長野県は子ども食堂の設置数が152カ所と、北信越で最も多い。子ども食堂が普及している割合を示す「充足率」も31.2%と高く、全国9位だった。ホットライン信州では、高校生から高齢者まで幅広い年齢層のボランティアが活動を支える。青木氏は「未来がある子どもを大事に育てたい」といった気持ちで参加してくれる人が増えていると話す。

子ども食堂、幅広い世代が支援

長野、北信越で最多152カ所

ネット調達で財源確保 宅配や電話相談も

データで読む 地域再生

電話相談などにも取り組んでいる。SDGs(持続可能な開発目標)への関心の高まりを背景に、企業などからの寄付も増えている。最近では食材宅配会社から寄付を受け、1万食を超える冷凍弁当を配ったという。20年から21年にかけての増加率が最も高かったのは新潟県。1年間で25カ所増加し、これまで子ども食堂がなかった地域にも広がっている。同県関川村では、21年12月に村で初めての子ども食堂GOGO(食)がオープンした。村に住む1995年生まれの同級生らが中心となって声を上げ、関川村社会福祉協議会と一緒に立ち上げた。子どもだけでなく高齢者も参加でき、プレ開業当日の参加者は80人を超えたという。

養護施設出身若者を支援

県社協など 就労や住居確保

県社協協議会などは、県内の児童養護施設や里親家庭で育った若者を支援する「社会的養育出身の若者サポートプロジェクト」を立ち上げた。民間企業やNPO法人をネットワークをつくらせ、進学や就職支援などを行い、社会に出てから困難を抱える若者の就労や住居確保といった支援につなげる。29日、長野市内で児童養護施設関係者を対象にした説明会があった。

施設で育った社会的養育出身の若者には、就職活動や学業支援のほか、施設生活に慣れた若者は県内で年間1000人入居し、身近に頼れる人がおらず、困難や孤立に陥るケースが少なくない。新型コロナウイルスの影響による雇用の減少は、社会的養育出身の若者にとって大きな課題だ。

プロジェクトは県社協のほか、県児童福祉施設連盟やNPO法人ホットライン信州など6団体で構成。施設などで育った若者の自立支援が原則として2024年度まで実施される。説明会では、若者自身が主体的に活動する重要性や、就職活動や学業支援のほか、住居確保や生活費のサポートなどについて説明があった。



説明会では、若者自身が主体的に活動する重要性や、就職活動や学業支援のほか、住居確保や生活費のサポートなどについて説明があった。

「これまで若者向け相談窓口を県社協に開設し、緊急時の備後支援を確保。不動産業者と連携し、初期費用が不要な住居の紹介や飲食店関係団体を通じて就労支援などを行う。プロジェクト幹事団体で県社協まわりのボランティアアセンタールの長峰夏樹所長は、施設を離れた若者が困難を抱える表情はよく知られていない」と説明。「長野県でできる支援をして、若者が安心して暮らせるようにしたい」としている。

児童養護施設などで育ち、社会に出た若者を支援するプロジェクトの説明会。29日、長野市。

NPO ホットライン 信州が 小学校へ「出張！信州子ども食堂」

子ども食堂 親しんで

NPO 夏休みの裾花小で開催

県内145カ所での子ども食堂運営・支援するNPO法人「NPO ホットライン信州」が、夏休み中の裾花小学校で「出張！信州子ども食堂」を開いた。普段は公共施設や店舗などで子ども食堂を開くのは初めて。気軽に親しんでほしいと、一



食材を受け取る児童

夏休み明けに不登校が増加傾向にあることを踏まえ、子どもの精神面を支えたいと考えた。両日とも同小児童が対象。体育館や図書室などを会場に障害者スポーツ「ボッチャ」や新聞エコバッグ作りなどを実施。18日は飛び入りを含め児童25人が集い、協力した。

18日は飛び入りを含め児童25人が集い、協力した。同校に息子が通う縁で、子ども食堂の出張開催を提案した同法人長野地区担当の篠原修子さん(中御所)は「子供たちの笑顔を見ることができた」と喜び、同法人の青木正照専務理事(72)は「夏休み中は学校給食がないので、家庭の出費は大変。フードロスにもつながるので(学校への出張開催が)全国的に広がればいい」と期待していた。

はマスクやドーナツ、バスケットボールなどが入ったポリ袋をはじめ、冷凍弁当、総菜、野菜といった支援物資が配布され、家に持ち帰った。初めての子ども食堂に参加した5年生の藤森悠貴君(11)は「楽しかった。別の所で開いている子ども食堂にも行ってみたい」と関心を高めていた。

2022年8月23日(火) 信濃毎日新聞

家計支援の弁当 松本駅前配布

ホットライン信州



新型コロナウイルスの影響による収入の減少や、物価高で家計が厳しい家庭に向けた支援。飲食チェーンから提供を受けた弁当や、菓子詰め合わせた弁当と未就学の長男がいる市内のパート従業員女性(35)は「子ども食堂が毎月開かれ、子どもも喜んでいる」とうれしそうに話していた。

同法人青木正照専務理事によると、物価高で子どもが多い家庭が食費に困るケースがあり、食料を求める声が増えているという。同法人は今後も定期的に子ども食堂を開く方針。

小学校で「子ども食堂」 長野 運動や雑貨作りも

NPO法人ホットライン信州(松本市)は、長野市裾花小学校で「信州子ども食堂」を開いた。



冷凍弁当やおかずを受け取る児童

同校に息子が通う縁で、子ども食堂の出張開催を提案した同法人長野地区担当の篠原修子さん(中御所)は「子供たちの笑顔を見ることができた」と喜び、同法人の青木正照専務理事(72)は「夏休み中は学校給食がないので、家庭の出費は大変。フードロスにもつながるので(学校への出張開催が)全国的に広がればいい」と期待していた。

4年の増尾龍人君(10)は同級生の小林穂高君(10)と一緒で「パパの誕生日プレゼントにしようかな。もう過ぎちゃったけど」。小林君は「お昼ご飯ももらえて、めっちゃうれしい」と話していた。

子ども食堂を普段使わない児童の参加を促す手段と同法人ボランティアスタッフの篠原修子さん(中御所)は、自身の子どもが通う縁で同小に打診し、開催が実現した。篠原さんは「子どもたちが今日見せてくれた笑顔や気持ちを持続してくれればいい」と期待していた。

8月27日(土)、信州子ども食堂まつもと学び塾で「王将弁当」が100食配られました。



120名の親子らが「王将弁当・k・お菓子など」食べました。

TSB テレビ信州 2022.9.30 放映



10月 6500品目以上が値上げ every 家計に負担…子ども食堂も困惑

一人親家庭支援 学生が活動体験

ホットライン信州 塩尻で



支援物資を紙袋に詰める大学生

「活動の裏に多くの人の支えがあって実感した」と話した。法人専務理事の青木正照さん(72)は「支援の仕組みを知り、体験を今後の生かしてほしい」と話した。(細野あゆみ)

ルポールの体験会が19日午後6時から、安曇野市の三郷文化公民館で開催される。ポールの打ち方をを

9月2日(木)、立命館大学と信州大学生が、「ひとり親家庭への支援物資袋詰め作業」と「コロナ感染と更なる物価高に苦しむ子どもと家庭支援の現状」について体験研修をNPOホットライン信州の塩尻の拠点で行いました。その内容が、9月6日の「信濃毎日新聞」に、続く、9月8日の「市民タイムス」に下記の記事が掲載されました。

一人親家庭支援 学生が活動体験 ホットライン信州 塩尻に新たな拠点 子ども食堂や物資袋詰め作業

県内子ども食堂を開いているNPO法人ホットライン信州(松本市)は、塩尻市片丘に新たな拠点「信州子ども食堂」を開設し、9月6日(火)に「出張！信州子ども食堂」を開催した。普段は公共施設や店舗などで子ども食堂を開くのは初めて。気軽に親しんでほしいと、一



「活動の裏に多くの人の支えがあって実感した」と話した。法人専務理事の青木正照さん(72)は「支援の仕組みを知り、体験を今後の生かしてほしい」と話した。(細野あゆみ)

ルポールの体験会が19日午後6時から、安曇野市の三郷文化公民館で開催される。ポールの打ち方をを

ひとり親家庭などへ 大学生が 活動体験



9月2日(木)、立命館大学と信州大学生が、NPO ホットライン信州が取り組む「ひとり親家庭への支援物資袋詰め作業」と「コロナ感染と更なる物価高に苦しむ子どもと家庭支援の現状」について活動体験研修を行いました。

参加した学生からは、立命館大学3年生の米山みやびさんは「青木様の子供に対する強い気持ち、ネットワークを自身から広げようとする積極性を感じた。これらが活動継続の大きな要因であると思った。」と答え、また同大学4年生の北谷真凛さんは「かなりの時間と労力を要することを実感し、事業を推進することや他者の喜びを原動力に見えない努力を続ける大変さを知った。活動を進めるためには地域ネットワークが重要であると感じた。」との感想をいただきました。

信州大学1年の青木詩織は「普段行われている支援の裏には、こんなにも大変な作業を行っている方がいたんだと驚くと同時に、私もその支えの一部になれているんだと思うととてもやりがいを感じました。また長野県各地でたくさんの子ども食堂が開かれていることを初めて知りました。身近なところでも私自身で子ども食堂について発信していきたい、支援の輪がさらに広がるよう努めていきたいです。

10月開催の信大銀嶺祭実行委員会チャリティーで、チャリティーバザー募金活動を計画していますのでご参加をお願いします。」



MGプレス 2022.9.10./Sat.

「子ども食堂」大学生が体験研修

ホットライン信州 活動の大切さ知って



県内138か所の子ども食堂を運営するNPO法人「ホットライン信州」は27日、立命館大学と信州大学の学生10名を対象に、子ども食堂の活動体験研修を行いました。

研修は、立命館大学と信州大学の学生10名を対象に、子ども食堂の活動体験研修を行いました。研修は、立命館大学と信州大学の学生10名を対象に、子ども食堂の活動体験研修を行いました。

研修は、立命館大学と信州大学の学生10名を対象に、子ども食堂の活動体験研修を行いました。研修は、立命館大学と信州大学の学生10名を対象に、子ども食堂の活動体験研修を行いました。

信濃毎日新聞 2022年8月30日 火曜日



家計支援の弁当 松本駅前配布

ホットライン信州 NPO法人「ホットライン信州」(松本市)は27日、松本市の松本駅前記念公園前で子ども食堂を開き、弁当や食料、生理用品などを親子連れらに配った。

子ども食堂で弁当や菓子を受け取る子どもたち

同法人の青木正照専務理事によると、物価高で子どもが多い家庭などが食べ物に困るケースがあり、食料を求める声が増えているという。同法人は今後も定期的に子ども食堂を開く方針。

新型コロナウイルスの影響による収入の減少や、物価高で家計が厳しい家庭に向けた支援。飲食チェーンから提供を受けた弁当や、菓子の詰め合わせなどを手渡した。小学生の長女と未就学児の長男がいる市内のパート従業員女性(35)は「子ども食堂が毎月開かれ、子どもも喜んでい」とうれしそうに話していた。



学び塾で勉強に取り組み、日本漢字能力検定を受験した2名が見事に合格しました！がんばったね。おめでとう。

当法人撮影 2022.9.24



松本市のNPOホットライン信州が運営する「信州子ども食堂」にまつもと学び塾が、ボランティアスタッフが手作りの豚丼弁当のほか、2企業から提供

MGプレス 2022年9月30日 金曜日

松本駅前支援物資配布 信州子ども食堂



親子連れが多くのお食料を受け取った

2022.10.11 ろうきん 本店営業部寄贈式 中日新聞と信濃毎日新



子ども食堂向け学用品など寄付 野田さん(左)と青木さん(右)が、信州子ども食堂の学用品などを手渡している。野田さんは、信州子ども食堂の学用品などを手渡している。野田さんは、信州子ども食堂の学用品などを手渡している。

のあったおやきや地域の農家から寄付されたサツマイモ、9月上旬に大学生が研修を兼ねて詰めた支援物資の袋詰めなどを配布。子ども向けの紙芝居や学習支援も行われた。

塩尻市の40代女性は「物価が上がり、買ったとしても悩んでやめたりする食材もあるのでとてもありがたい」と話していた。

毎月第4土曜の昼に開催している同食堂は、昨今の物価高で年金生活者や多世代の参加も増えているという。青木正照専務理事(72)は「ひとり親家庭など生活に困窮している方には、支援物資の宅配も行っている。困ったら相談してほしい」と呼びかける。

ホットライン信州 ☎ 0120-914-999

女性の自殺防止「重点施策」

政府新大綱を閣議決定

政府は14日、国の自殺対策の指針となる新たな自殺総合対策大綱を閣議決定した。新型コロナウイルスの影響による生活環境の変化を踏まえ、自殺者数の増加が目立つ女性の支援を「当面の重点施策」に位置付け対策を強化。来年4月に発足する「こども家庭庁」と連携し、子どもや若者の自殺防止に向けた取り組みを進めるとした。

加藤勝信厚生労働相は14日の閣議後記者会見で「関係省庁と連携し、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実

県内自殺者

21年は337人

女性は前年比12人減

県警生活安全企画課によると、県内の2021年の自殺者は前年比16人減の337人。うち女性は114人(30・3%)で同12人減少した。県保健・疾病対策課によると、同年の20歳未満の自殺者は16人。

県精神保健福祉センター(長野市)によると、21年度に「こころの健康相談統一ダイヤル」に寄せられた相談は前年度比4件減の620件。ただ「死にたい」といった自殺と関連がある相談は2333件で全体の37・6%を占め、前年度比3・1割増となった。

現を自指す」と述べた。大綱は5年ごとに見直される。今回は現状について、自殺者数は減少傾向だが毎年2万人を超える水準で推移していることから「非常事態は続いている」と指摘。コロナ流行で自殺の要因となるさまざまな問題が深刻化し、女性や中高生で増加していると分析した。

2021年の女性の自殺者

数は7068人で、コロナ禍の中、2年連続で増加した。新大綱に基づく対策では、雇用問題を重くみてハローワークでのきめ細かな相談支援などを実施。予期しない妊娠で悩みや不安を抱えた若い妊婦のサポートを拡充する。学校や地域の支援者らが連携して子どもの自殺を防ぐ仕組みも構築する。

17年の前回大綱で掲げた、

人口10万人当たりの自殺者数(自殺死亡率)を26年までに15年と比べ30%以上減少させるとの数値目標は維持する。大綱は06年施行の自殺対策基本法に基づき、07年に初めて策定された。

生活困窮者の相談や子ども食堂支援に取り組むNPO法人ホットライン(信州松本市)の青木正照専務理事(72)によると、新型コロナウイルスの影響で、感染拡大や物価高騰の影響で、日々の暮らしに不安を抱える母子家庭も多い。支援の需要は高まっており「サポート態勢を強化して注意深く見守りたい」としている。

信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂の中でも、「悩み相談や生活用品配布」など行っているところがありますので、お気軽にお越しください。



NPO ホットライン信州 補足説明

長引くコロナ流行と急激な物価高で、自殺の要因となる様々な相談が深刻化し、特に女性の孤立感の辛さが伝わってきます。「悩みを話す＝悩みを手放す」方法として、相談 や こども食堂へのご活用ください。

一人で悩んでいませんか？ まずはお電話ください。



お電話で無料相談 0120-914-994
0263-75-8368
https://online.jimchfree.com/

電話相談 → 面談 → 同行支援

一人で悩んでいるあなた

生活再建へ 自立と

地域で支え、認め合い、つながりを広げ、誰もがしあわせな社会を築きましょう！

特定非営利活動法人 **NPO ホットライン信州**

長野県 コロナ禍において不安・困難を抱える女性に対する緊急支援事業

2022年10月25日(火) 上毛新聞

企業の力！と協働で多大なる成果を上げる。



▽NPOホットライン信州の青木正照専務理事が長野県の実況や同法人の歩みを講演。「困っている人のため、場を作るのが大切」と、こども食堂の1層の拡充を訴えた。(湯沢宏志)

▽県内でも食堂や食品会社の代表者らが登壇し、それぞれの食を通じた地域支援活動などを紹介した。後関あさひ保育園(安中市)の新任祥文園長は保育園の誕生会に地域の高齢者を招待する交流事業などを報告した。

▽「食でつながるフェスタinぐんま」(県社会福祉協議会主催)が24日、前橋市の県社会福祉総合センターで開かれ、約100人が講演や事例紹介を通して食からの地域づくりを考えた。

群馬県の各事例報告と目崎副委員長によるディスカッション「自治体や企業、各支援団体や住民がつながる。」

こども食堂の意義学ぶ パソナ 松本から全国配信



人材派遣などのパソナが参加。NPO法も家族で食事を囲む機会がない家庭もあるとして「心の貧困をなくす取り組みが必須」と大勢が交流する。こども食堂の意義を伝えた。パソナは2年前から松本や長野の社員がこども食堂の運営にボランティアで参加し、社員らから募った物品を寄贈している。この日も北信越エリアで集めた日用品や食品、募金で購入した使い切りカイロなどを贈った。勉強会の企画者の一人で同エリア社会貢献委員の政木ゆかりさん(54)は「多くの方に参加してもらえよう自分から発信し、1人でも多く支援できるように活動していきたい」と話していた。(鎌倉 希)

ナ・松本(松本市深志2)で27日、同社の社会貢献活動として支援する「こども食堂」についての勉強会が開かれた。パソナ北信越営業部の主催でオンライン配信され、全国のパソナグループ社員ら約80人が参加。NPO法人ホットライン信州の専務理事・青木正昭さん(73)の講話を通して現状を理解を深めた。青木さんは、こども食堂がさまざまな生活課題を抱える人々を地域で支える場となった。パソナは2年前から松本や長野の社員がこども食堂の運営にボランティアで参加し、社員らから募った物品を寄贈している。この日も北信越エリアで集めた日用品や食品、募金で購入した使い切りカイロなどを贈った。勉強会の企画者の一人で同エリア社会貢献委員の政木ゆかりさん(54)は「多くの方に参加してもらえよう自分から発信し、1人でも多く支援できるように活動していきたい」と話していた。(鎌倉 希)

日用品ホットラインに 第一生命松本支社が寄贈

松本市深志2の第一生命保険松本支社は8日、各地で子ども食堂を運営しているNPO法人・NPOホットライン信州(同市寿北5)に、日用品4万7800円分を贈った。小侯哲也社長と社員が、同市本庄1の活動場所「信州子ども食堂まつり」を訪れ、小侯支社長は「社員みんなが子ども食堂のために」と思い、よ



小学生スタッフに目録を手渡す小侯支社長(左から4人目)

りたかさん歩こうという意識が高まる」と振返る。感謝状を渡した小学生スタッフの塚田百香さんは「贈られた物をもらった皆さんは生活が助かって喜ぶが増える」と話していた。(石川 鮎美)

市民タイムス
2022年12月30日(土)

平和、暮らし 揺れた一年

NBS 出来立ての豚汁やゆで餃子を味わう子どもたち。長野県内でこども食堂を運営するホットライン信州が開いた。島内公民館ではコロナ禍や物価高で苦しむ人たちにと年越しそばや米、野菜、おやきなどが無料で配られた。ホットライン信州青木専務理事は「物価高騰のあおりを受けて厳しいという声が寄せられている。新年は気持ちよく笑顔で元気で迎えてほしい」と話した。



年越しこども食堂で、紙芝居を見ながら食事をする来場者

子ども食堂 物価高騰などで苦しむ家庭や子どものためNPOホットライン信州が企画

子ども食堂 愛好家などが手打ちした生の年越しそばやラーメン店のゆで餃子の振る舞い

SBC 年の瀬に合わせ、松本市でこども食堂が開かれ、手打ちの年越しそばなどが提供されました。NPOホットライン信州が、物価の高騰などで苦しむ家庭や子どもに年末年始を笑顔で迎えてもらうと企画しました。きょうは市内のそばの愛好家などが手打ちした生の年越しそば120食が配られたほか、ラーメン店の店主がゆで餃子を振る舞いました。訪れた子どもは「おそばを食べられないから嬉しい」と喜んでいました。



年越し信州こども食堂 in 島内(2022.12.30)

「来年こそ平穩に」願い切実
令和4年も残りあと1日となった。新型コロナウイルスの感染がまだ、物価の高騰に耐え、ロシアのウクライナ侵襲で高騰した年P法(法人)が、年越しそば(松本市北)で、年越しそばを配る。約80人が訪れた。持ち帰り用は手打そばや、おやき、おもちなどが提供された。子どもたちは「来年は、平穩な暮らしを」と願い、手を打った。石川 鮎美



中日新聞 2022年12月30日
松本で子ども食堂 生そばや衣類配布
ホットライン信州
新型コロナウイルス禍などで困窮する子どもや家庭を支援しようと、県内でも子ども食堂を運営する松本市のNPO法人「ホットライン信州」は三十日、市内の島内公民館で、「年越し信州こども食堂」を開いた。ボランティア四十人が参加。企業や農家、個人から寄付された米や野菜、菓子を配る。約2万点を来場者に配布した。地元そば愛好会が打った生そばは「干しそばも配られた」とあり、子どもたちを喜ばせた。

2022年12月11日(日) 中日新聞

カレーうどんでポカポカ 松本 NPOが子ども食堂開催



鍋をゆでる大鍋のそばで暖をとる人たちは松本市本庄1の松本駅前記念公園で

振る舞った。カレーうどんの種は、大鍋を使ってゆで、その周りで暖をとる人たちの姿もあった。子どもが好きなというウクレレが、年の暮れに子どもたちと一緒に作ったり、紙芝居をしたりしている。温かな食事を味わい、また来年と語り合ってもらった。訪れた人(山崎 健二)

食材や衣類を提供し感謝状を受け取る玄向寺の萩須さん

厳冬 善意の食料に感謝 松本の玄向寺 子ども食堂で配布



子ども食堂を訪れた親子連れに米を手渡す萩須さん(左)

松本市村の玄向寺が取り組む、経済的困難な家庭に食料を配る「善意の食料」を配布する。玄向寺の萩須さん(左)は、玄向寺のボランティアとして、市内の約40人から、プロシエは、新型コロナウイルスで、大規模な収入が減少した家庭を支援しようと2020年冬に始める。11月末まで食料の寄付を受け付け、寄せられた米は約400石に上る。

「信州」は三十日、市内の島内公民館で、「年越し信州こども食堂」を開いた。ボランティア四十人が参加。企業や農家、個人から寄付された米や野菜、菓子を配る。約2万点を来場者に配布した。地元そば愛好会が打った生そばは「干しそばも配られた」とあり、子どもたちを喜ばせた。

ホットライン信州によると、コロナ禍と物価高で、困窮世帯の生活は厳しくなっている。青木正昭専務理事は「心のこもった支援物資が集まった。力を合わせて厳しい状況を乗り越えたい」と力を込めた。

「長きキヤード」の寄付もあり、副住職の萩須尚さん(47)は「温かい気持ちがあった」と話した。

この日の子ども食堂には萩須さんも参加し、親子連れに米や野菜を手渡した。市内の別の児童館のボランティアも、米や野菜をいただけるのはとても助かったと話した。

同法人専務理事の青木正昭さんによると、こども食堂の利用や食料品の宅配を希望する人は昨年同様に1.5倍ほどに増えているという。田舎ほどに増えているという。田舎ほどに増えているという。田舎ほどに増えているという。

2023 1.24 [火]

火曜～土曜発行

https://mgpress.jp official.mgpress @MGpress2018

02暮らし 安曇野に気軽な仕事場

03地域 「香害」学び香り選んで

04-05シニア 手作り発信「お達者通信」

記者中、海外発着のない電話番号は0263地域です

【お問い合わせ】〒390-8585 松本市中央2-20-2 ●MGプレス【編集】☎0263-32-1139 FAX0263-32-3388【広告】☎0263-32-5539 FAX0263-32-5599 ●信濃毎日新聞社本社広告部 ☎0263-32-2860

メディアガーデン MG プレス Tue. 信州の真ん中から発信

松本市・塩尻市・安曇野市・大町市・東筑摩郡・北安曇郡・木曾郡

2023年1月23日 市民タイムス

(3) 令和5年(2023年)1月23日 月曜日



食料品などの配布や交流・遊び、学びを楽しむ親子連れ

子育て支援企画にぎわう 生坂 交流や相談をセットで... 生坂村教育委員会... 子育て支援企画にぎわう... 生坂村教育委員会は、びを楽しくプレイス... 22日、村B&G海洋センターの体育館で村内... の子育て世帯の支援イベント「居場所みつ... けた」を開いた。親... の交流・遊びと生活... 支援・相談をセット... した催しの第3弾で、... 親子連れ25世帯約80... ナーも人を集めた。... 遊びのプレイスより... 充実し、子供たちの元... な声を聞いた。家族... トリーや射的などの遊... た。(小笠井貴之)

ホットライン信州×パロー南松本店 店内開催「子ども食堂」



スーパー内の一角を利用した子ども食堂では、焼きたくパンなどの食品配布や、親の買い物中に子どもが滞在できるワークショップも行われた

スーパー内の一角を利用した子ども食堂では、焼きたくパンなどの食品配布や、親の買い物中に子どもが滞在できるワークショップも行われた... 誰にも寄りやすい店... という趣は、運営団体... や利用する市民にもリ... リットになり、3書の... 利益が数倍した。... 月1回の定期開催を... 予定。普段のキッズ... ペースで、買い物物... 中の預かりやイベント... 開催の場としての機能... もある。今後の開催... 定はフェイスブック... (ホットライン信州) ... 014・09・04

県内初の試み 月1回の定期開催予定 にぎわい創出の場に... コロナ禍も急激な脚高騰の中、困窮者の支えとなる子ども食堂。松本市は県内初で全国でも珍しいという、スーパーマーケット内の開催が関心を集めている。食品販売の現場で配布もするという。相反しても見える試み。その狙いは。(佐藤伸子)

パロー(本社・岐阜県恵美市高橋町)で開いた2回目(左)「信州子ども食堂」。店舗内空きテナント部分を約100人にきわむる。東海地方を中心に約240店舗を開業する。あめちの振る舞い、高校生ボランティアによるおもてなし。パロー(本社)の「信州子ども食堂」の開催。同社が新潟県などで行ってきた。味期限近い食品の寄付を通して、同業縁が広がる。店舗は1スのほか、赤坂焼きたてパンの個性を、同業1の個性を提供。団体はメニューや食材を出し、運営した。パローグループでは「サステナビリティ推進」を中心に環境保護やフードロス削減などに力を入れ、昨年から家庭の剩菜食品を循環させる「フードリイフ」プログラムも推進している。今回の試みは、社会貢献にもなり、信託の差別化になり、にぎわい創出、次世代の子どもの居場所につなげる。パローホールディングス管理本部 秋元武志(左)の期待も。

信濃の国 解題 CH酒造株式会社 安曇野市豊科高家1090-1 TEL.0263(72)3011

生坂の保健師ら 生活困窮者支援、動き出す 見つけつなぐ力になりたい



生坂村で、食料品や生活必需品を無料配布したり、子どもをまとって遊んだり受備しを通じて、生活困窮者を支援し、村同士との交流を深める取り組みが動き出した。新型コロナウイルスによる収入減や物価高が苦しい家庭を支え、コロナ禍で薄れがちな住民のつながりを取り戻そうと、村の保健師が中心となって、世代を超えて交流できる場として定着させ、地域を助めたいとしている。

生坂村で、食料品や生活必需品を無料配布したり、子どもをまとって遊んだり受備しを通じて、生活困窮者を支援し、村同士との交流を深める取り組みが動き出した。新型コロナウイルスによる収入減や物価高が苦しい家庭を支え、コロナ禍で薄れがちな住民のつながりを取り戻そうと、村の保健師が中心となって、世代を超えて交流できる場として定着させ、地域を助めたいとしている。

新型コロナウイルス下の収入減、物価高... 食料・生活物資 配布

生坂村で、食料品や生活必需品を無料配布したり、子どもをまとって遊んだり受備しを通じて、生活困窮者を支援し、村同士との交流を深める取り組みが動き出した。新型コロナウイルスによる収入減や物価高が苦しい家庭を支え、コロナ禍で薄れがちな住民のつながりを取り戻そうと、村の保健師が中心となって、世代を超えて交流できる場として定着させ、地域を助めたいとしている。

生坂村で、食料品や生活必需品を無料配布したり、子どもをまとって遊んだり受備しを通じて、生活困窮者を支援し、村同士との交流を深める取り組みが動き出した。新型コロナウイルスによる収入減や物価高が苦しい家庭を支え、コロナ禍で薄れがちな住民のつながりを取り戻そうと、村の保健師が中心となって、世代を超えて交流できる場として定着させ、地域を助めたいとしている。

2月11日(土) 信濃毎日新聞

心温めるあんかけ焼きそば 松本の有志 子ども食堂で提供



海鮮あんかけ焼きそばを振る舞う有志ら

松本市民有志でつくる「松NPO法人「ホットライン信本市」が、松本市が開いた「子ども食堂」に併せて実施。利用者を中心に温めたい。この日はみらいのメンバー... 5人が活動した。代表で市内で飲食店を営む浅田修吉さん(64)があんを事前に調理。会場に大鍋を持ち込んで湯を沸かし、袋入りの麺や、あんを温めた。冷え込む中、訪れた人は大鍋に近づき「温かい」「いい匂い」と笑顔を見せた。母親(11)は「冬に合う温かい」と味わった。浅田さんは「ごろみのあるあんは体が温まる。匂いや大鍋の湯気で気持ちも温かくなっている」と話していた。

みらいは1995年の阪神大震災以降、各地の災害被災地で炊き出しを行ってきた。同公園では1年ほど前から活動している。



訪れた子供たちに優しくマグネットの作り方を教える生徒

高校生 こども食堂運営

パロー南松本店 エクセランの8人参加

松本市のエクセラン高校のボランティア部が企画、運営する「こども食堂&こども広場」が19日、同市村井町北2のスーパーマーケット・パロー南松本店で開かれた。NPO 法人・ホットライン信州(松本市)が2月に店内に開設したオープンスペースを同法人以外が活用する初の企画で、生徒たちはマグネットの飾りやバルーンアートを作って、子供たちを楽しませた。

ボランティア部の生徒8人が参加した。マグネット作りでは、樹脂粘土に絵の具を混ぜて色をつけ、型を流して色を付け、飾りをつけた。生徒は子供たちに優しく教えるが、ハートや恐竜のマグネットと一緒に作っていた。副部長の熊谷春花さん(16)は「最初は緊張している子が作っていきうちに笑顔になっていくうちに笑顔になっていく。私も楽しいし、やらえたら」と話している。(真田尚子)



3月22日(水)、松本市の新村地区で新たなこども食堂「信州みんなの食堂」が始まりました。子どもたちがいつ来てもいいよ!! 3月30日の6日間で、子ども60名を含む125名が参加



2023. 4. 15. / Sat. MGプレス

料理を作って食事会

ゆいまーるこどもひろば



調理室で豚汁を作る子どもたち

松本市島立公民館で3月31日「ゆいまーるこどもひろば」が開かれた。子どもたち約50人が参加し、協力しながら豚汁約100人分を作り、かまどで2升約3.6kgの米を炊いて食べた。

中華料理の「餃子の王将」からキョーザや唐揚げなどが入った弁当の無償提供もあり、作った料理と一緒に味わった。4月から島立小6年生の女子(11)は、みんなで協力してできて楽しい。おいしいと喜んでもらえると作ったことがうれしかった。

同ひろばは、NPO ホットライン信州松本教育学区の大蔵真由美准教授のゼミ、公民館などをつくる運営委員会が、昨年9月まで活動していた「ゆいまーるこども食堂」を引き継ぎ、1月1日開催している。

これはコロナ禍もあり物資の提供や遊び、勉強などが中心だったが、今回初めて自分たちで作る食事会を企画した。

特別支援学校の教諭を目指しているゼミ生の林優稀さん(新4年生)は、普段は子どもと関わる機会が少なく、遊んだり勉強を教えられることができることに楽しんで、「大蔵准教授はみんなと食事を共にできるの温かさにもつながると話した。」

テレビ信州3月23日(木) 放映 3月27日(月)長野朝日放送の取材を受ける。

2023年3月23日(水) 市民タイムス

いつ来てもいつまで居てもいいよ

松本市新村的旧飲食店店舗で22日、子供たちに食事や居場所を提供する「こども食堂」の活動が始まった。地元の人たちの協力を得ながら運営しているNPO法人ホットライン信州共催、開店した「あんど」の空き店舗を借りて実施。初日は幼児や小学生ら訪れ、ボードゲームで遊んだり、地元百瀬昌江さんによる人形を使ったお話を聞いたりして思い思いに過ごしていた。

下里さんは「子供たちがいつ来てもいいよ、家で学校とは違う第三の居場所にした」と言い、不登校の子供と保護者の支援活動もしている。

地域の協力で子供支援

3月23日、27、30日の午前10時～正午に開く。4月からは週1回、午後4時～6時に開く。近々の松本大学の学生も活動に携わる。(0900・7943子供は参加無料、大人は寄付金として500円を志募る。問い合わせは下里さんへ。)



百瀬さんと口パク人形の会話を見て楽しむ子供たち

新村に「みんなの食堂」



NPO ホットライン信州からの物資の提供を受ける。

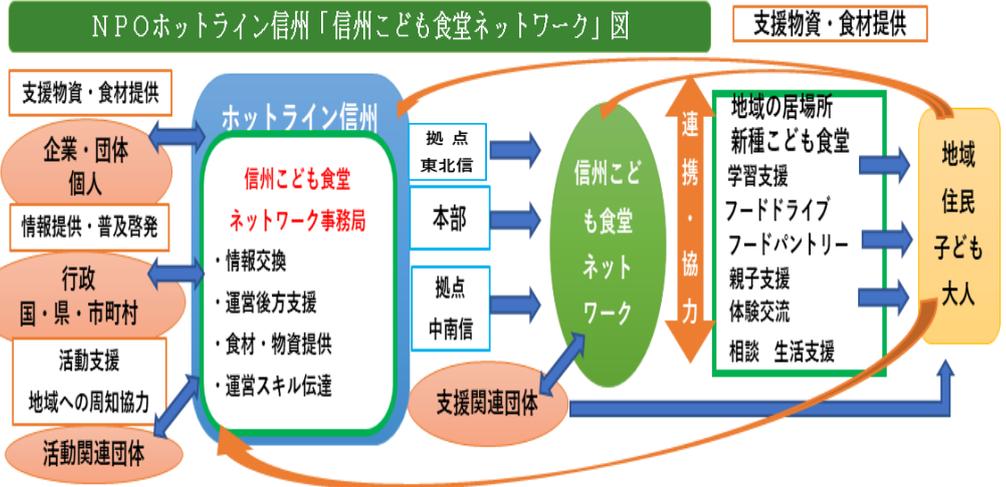


NPO ホットライン信州からのデータを活用する。



NPOホットライン信州「信州子ども食堂ネットワーク推進・関連団体一覧」

県・各市町村関係機関			助成金・補助金 団体		
内閣府・厚生省・農林水産省	県子ども若者局・環境部・農政部		内閣府子供未来応援基金	独立行政法人福祉医療機構	
長野市子ども未来部・環境部	諏訪市	塩尻市立図書館	モバイルコミュニケーション	JT日本たばこ産業	
塩尻市交流支援課・福祉課・教育委員会・子ども課・家庭支援課			キュービーみらいたまご財団	日本財団	中央 長野県共同募金会
松本市子ども部・環境部	安曇野市	東御市	ベネッセ子ども基金	長野暮らしサポートセンター	
関係団体			長野県みらい基金	三井物産環境基金	ソロピスミスト長野
労協ながの・高齢協	長野県みらい基金		(公財)東京コミュニティー財団	NHKわかば・NHK歳末赤い羽根	
長野県暮らしサポートセンター	生活底上げ実現長野連絡会		(一社)全国食支援活動協力会	ファイザー	JM基金
生活底上げ県連 労福協「労働3団体(連合等)・(労金・労済・生協等)・NPO団体」・反貧困ネットワーク			(一財)中部圏地域創造ファンド	JANPIA	ニッセイ財団
長野ボランティア	市民活動ネットワーク	長野県弁護士会	長野県元気づくり支援金	松本市子どもの居場所づくり	
ながの若者サポートステーション	チャイルドラインながの		信州子ども食堂ネットワーク 150カ所		
長野県司法書士会	アイアース	県職員労働組合	裏面地図参照		
県内ソロプチミスト	翠翔会	NPO法人えんのわ	寄付自動販売機設置企業		
学びサポート塩尻	(特非) わおん	長野市農業研修センター	ダイドードリンコ(株)		
塩尻市配食ボランティアG P	信州アルプス大学校		日穀製粉(株)松本工場	笠原工業(株)	
企業・団体			松本日産自動車(株)2台設置	(株)創恒 2台設置	
長野県遊技業協同組合	(株)クラダシ	ミスズコーポレーション	(株)藤森プロパン商会	浅麓工業企業組合	
ジンコーポレーション(アポロ)	カーブス須坂 中野 飯山		小木曾製粉 臨空工場	エフディフチャー(株)2台設置	
マルイ大町・KEIZ・ラッシュ松本	宝箱	スイーツ学会	岩野商会 松本支店	(有)小林青果店	
中日本フード(株)	おてらおやつクラブ・長谷寺・	はぐしおアサヒ飲料株	APULO松本駅前店	新広自動車工業	
パローホールディングス	長光寺・圓浄寺・圓成寺・玄	柄木田製粉株式会社	(株)山風舎	藤城 泰郎 様	
松本ユネスコ協会	向寺・安養寺・牛伏寺	デイリーフーズ株式会社	(有)サントーフーズ	(株)北原組	
国際ソロプチミスト松本	浄土宗ともいき財団	J Aながの	(株)岡谷組 本社	(株)ダイヤ精機製作所	
労金本店営業部青年委員会	キリンググループ労組	J Aグリーン長野	(株)日本ピスコ 本社工場	松本日産自動車(株)	
労金松本支店青年委員会	(株)スドージャム	J A中野市	テンハウ米沢店	竹花工業	
丸善食品・アスザックフーズ	信州ビバレッジ労組	共和園芸 三井金属	(株)マルエイ 種兵	(株)太真産業	
新光電気労組	炭平	丸紅(株) 住友商事	カゴメ(株)	伸和コントロールズ(株)	
ナガノトマト(株)	長野銀行	すみれ会	(株)しなの麵工房	(有)福沢製作所 2台設置	
塩尻市芸能文化協会	晴耕舎	(株)デリシア	信濃毎日新聞	信州元気塾	(株)ズー
新聞諏訪地区販売店会	マルシェ川上	神田堂書店	マルコメ 峯村組	(有)バンノー	ハイブリッド・ジャパン(株)
ダスカジャバクアウトテモック	ライオンズクラブ国際協会334-E	長野日石ガス	オルガン針(株)3台設置	(株)シナノ2台設置	
ニッタイ株	ローソン	(株)テンホーフーズ (株)明治	ベストカラー	中野プラスチック工業(株)	
高相物産・タッパーウェア	キッセイ薬品	日本アクセス	八十二銀行	(株)中外製作所	アート梱包運輸(株)2台設置
子ども食堂関連団体			炭平コーポレーション(株)	松山技研(株) 表面処理事業部	
全国フードバンク推進協議会	全国子ども食堂ネットワーク		日立stemo上田(株)	靴のシューマート長野稲里店	
NPO法人豊島子どもwakwakネットワーク	信州大学	松本大学 長野大学	海鮮井どん八 長野稲里店	南長野運動公園	
フードバンク山梨	日本百貨店協会	新潟大学 立命館大学 京都大学	(株)ベネフレックス 寄付自動販売機設置企業		
清泉女学院・大原学園	塩尻市コミュニティスクール		(株)ハーツ事務所	(協)長野アークス	
パルシステム連合会	二鶴堂	順正学園・モランボン	薬糧開発	キュービー	(協)長野アークス CANS
中部圏地域創造ファンド	信州豊南短期大学 長野短大 長野青青学園		ベイクックコーポレーション(株)		
全国食支援活動協力会			新光工業(株)		
長野北東ロータリークラブ			コカコーラ(アクエリアス提供)		
(一社)ギビングフォワード					
いろは堂	長野牛乳				
信濃化学工業	日本トイザラス				
(株)ニッポン	LA春山				
にいざわ皮ふ科	北信ガス(株)				
(有)トザワ	長野県JAバンク				



個人 約 2,800名以上多数

